magicolor® 2530 DL
ユーザーズガイド

A00V-9566-03K
1800818-014D

はじめに

弊社プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 2530 DL は、Windows、Macintosh 等の環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。
http://printer.konicaminolta.jp より“サポート”を選び、“オンラインユーザー登録”にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標または、登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標または、登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

Copyright © 2006 by KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC. All Rights Reserved.

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

Copyright © 2006 by KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC., Marunouchi Center Building, 1-6-1 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, 100-0005, Japan. All Rights Reserved.

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者 (以下、譲受人) に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。

7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

もくじ

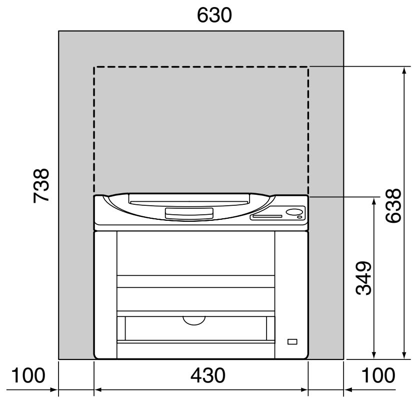
1 はじめに

お使いになる前に

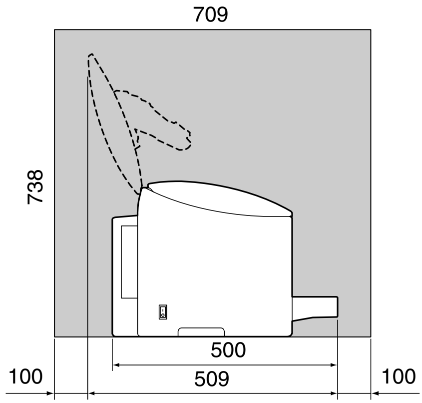
設置スペース

プリンタ操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

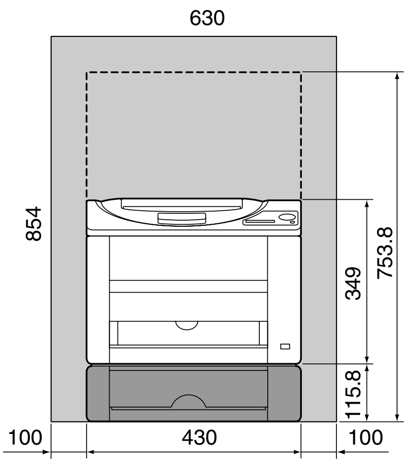
正面図



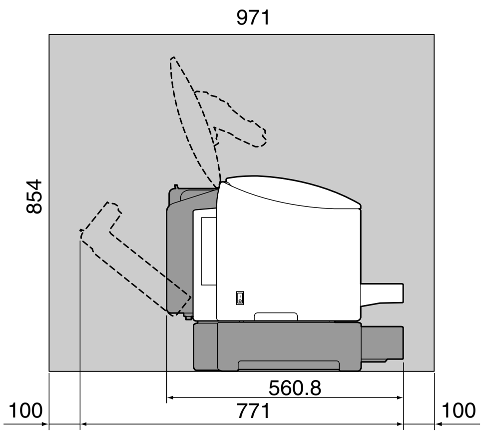
左側面図



正面図（オプション装着時）



左側面図（オプション装着時）



単位：mm

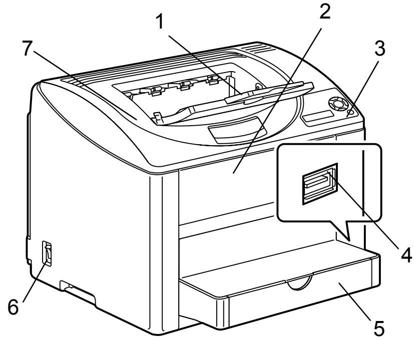
上記イラストの網掛け部はオプションです。

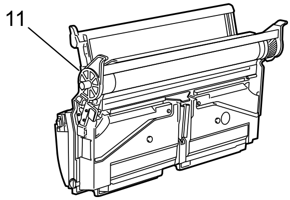
各部の名称

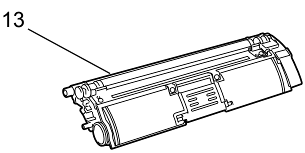
以下の図は、本書で使用しているプリンタ各部の名称を示しています。

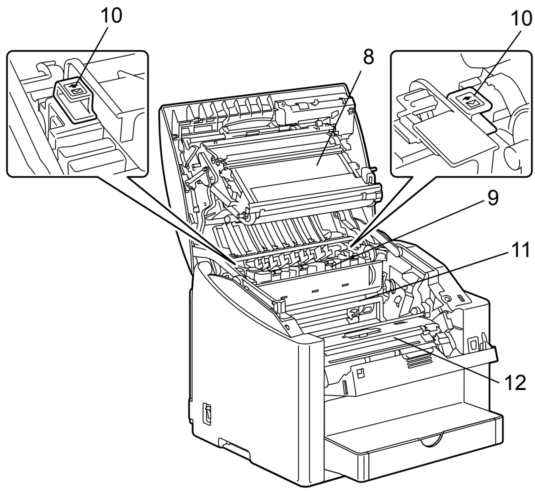
前面

1　排紙トレイ
2　前ドア
3　操作パネル
4　コニカミノルタデジタルカメラダイレクトプリント用ポート
5　トレイ 1（多目的トレイ）
6　電源スイッチ
7　トップカバー
8　転写ベルト
9　定着ユニット
10　定着離間レバー
11　ドラムカートリッジ
12　トナーカートリッジラック
13　トナーカートリッジ



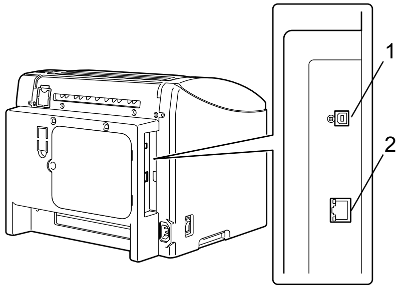






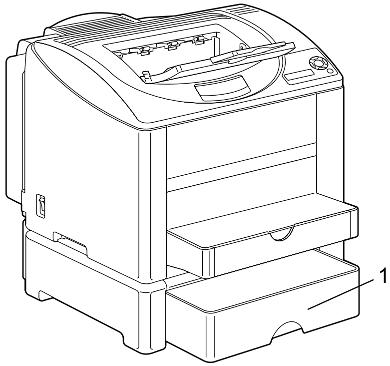
背面

1　USB ポート
2　10Base-T/100Base-TX (IEEE802.3) イーサネット (Ethernet) インターフェースポート



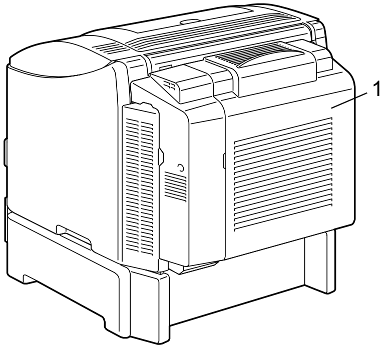
前面（オプション装着時）

1　給紙ユニット（トレイ 2）



背面（オプション装着時）

1　両面プリントユニット



2 ソフトウェアについて

付属の CD-ROM について

プリンタドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ （Windows XP/Server 2003/2000 用）	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）」（p.20）をごらんください。
プリンタドライバ （Windows Me/98SE 用）	
プリンタドライバ （Windows NT 4.0 用）	
プリンタドライバ （Macintosh OS X 用）	

Macintosh のプリンタドライバについては、「magicolor 2530 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

プリンタドライバのインストールについては、「magicolor 2530 DL インストレーションガイド」をごらんください。

ユーティリティ

ユーティリティ	機能
ステータスディスプレイ （Windows のみ）	ステータスディスプレイでは、消耗品、エラー情報など、本プリンタの現在の状況を確認できます。 詳しくは、「ステータスディスプレイの使いかた」（p.38）をごらんください。
プリンタステータスモニタセンター（Windows のみ）	同一ネットワーク上のコニカミノルタ製品のステータスが確認できます。 詳しくは、「プリンタステータスモニタセンターの使いかた」（p.42）をごらんください。
PageScope Web Connection	ブラウザでプリンタのステータスの確認、各種設定の変更ができます。 詳しくは、「magicolor 2530 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

必要なシステム

- コンピュータ：
  - Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Pentium 3：500 MHz 以上を推奨)
  - Power Mac G3 以降（G4 以降を推奨）
  - Intel プロセッサを搭載した Macintosh
- オペレーティングシステム：
  - 32bit
    Microsoft Windows XP Home Edition/Professional, Windows Server 2003, Windows 2000 Professional, Windows Me, Windows 98SE, Windows NT 4.0
  - 64bit
    Microsoft Windows XP Professional x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition

    64bit ドライバは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載のプロセッサが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。
    64 bit ドライバは、弊社ホームページより入手することができます。
  - Mac OS X 10.2 以降（最新のパッチの適用を推奨）

    Macintosh のプリンタドライバについては、「magicolor 2530 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
- 空きハードディスク容量：
  - 約 256 MB 以上
- メモリ：
  OS が推奨する以上
- CD-ROM/DVD ドライブ
- インターフェース：
  - 10Base-T/100Base-TX（IEEE 802.3）イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
  - USB 2.0 準拠インターフェースポート

    USB 接続でお使いの場合、以下の条件を満たしている必要があります。
    お使いのコンピュータに、Windows XP Home Edition/ Professional, Windows Server 2003, Windows 2000 Professional, Windows Me, Windows 98SE がインストールされていること。

プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）

プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタドライバでそのオプションを設定しておいてください。

Windows のプリンタドライバのインストールについては「magicolor 2530 DL インストレーションガイド」をごらんください。
Macintosh のプリンタドライバのインストールについては「magicolor 2530 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

以降の説明は、特別な記述がない限り 32bit ドライバと 64bit ドライバで共通の情報を含みます。Windows XP および Windows Server 2003 に関する項目は、同様に Windows XP Professional x64 Edition および Windows Server 2003 x64 Edition にも共通です。

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows XP/Server 2003 の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows Me/98SE の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。プロパティ画面で「プロパティ」タブをクリックします。

– Windows NT 4.0 の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」プリンタアイコンを右クリックし、「ドキュメントの既定値」をクリックします。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3 「デバイスオプション設定」タブをクリックします。



4 オプションが正しく認識されているか確認します。

本ドライバでは、初期設定でオプションの自動認識が設定されていますので装着済みのオプションは自動的に認識されます。何らかの理由で、オプションが正しく認識されていない場合は、手順 5 から 7 を行ってください。

5 「自動オプション設定」のチェックを外します。

6 「デバイスオプション」から装着しているオプションを選択し（一度に 1 つ）、「設定」リストを「未インストール」から「インストール済み」に変更します。



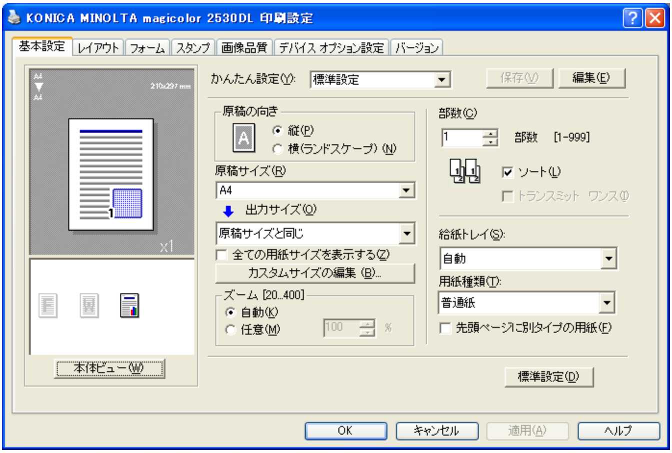
「デバイスオプション」の設定は、［適用］をクリックすることで有効となります。

間違って装着していないオプションを追加した場合は「デバイスオプション」リストからそのオプションを選択し、「設定」リストを「インストール済み」から「未インストール」に戻してください。

7 装着しているオプションをすべて設定したら、［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

8 「基本設定」タブをクリックします。
使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。



各タブの設定項目については「プリンタドライバの使いかた」（p.21）をごらんください。

9 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

10 ［OK］をクリックし、プリンタの設定画面を閉じます。

プリンタドライバのアンインストール（Windows）

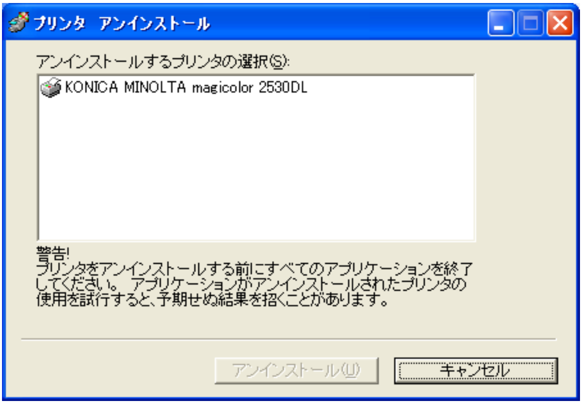
ここでは、magicolor 2530 DL プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

プリンタドライバのアンインストールは、管理者権限を持つユーザーのみが実行できます。

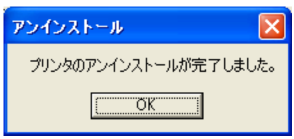
プリンタドライバのアンインストール

1 ［スタート］メニューから「プログラム」（Windows XP/Server 2003：「すべてのプログラム」）—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 2530 DL」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

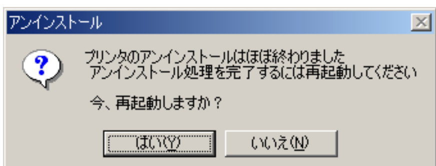
2 アンインストール画面で「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」を選択し、［アンインストール］をクリックします。



3 下図のような画面が表示されたら、［OK］をクリックします。



Windows Me/98SE の場合、右図の画面が表示されます。
［はい］をクリックしてコンピュータを再起動してください。



プリンタドライバ設定画面を表示する（Windows）

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」–「プリンタとその他のハードウェア」–「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000/Me/98SE/NT 4.0

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

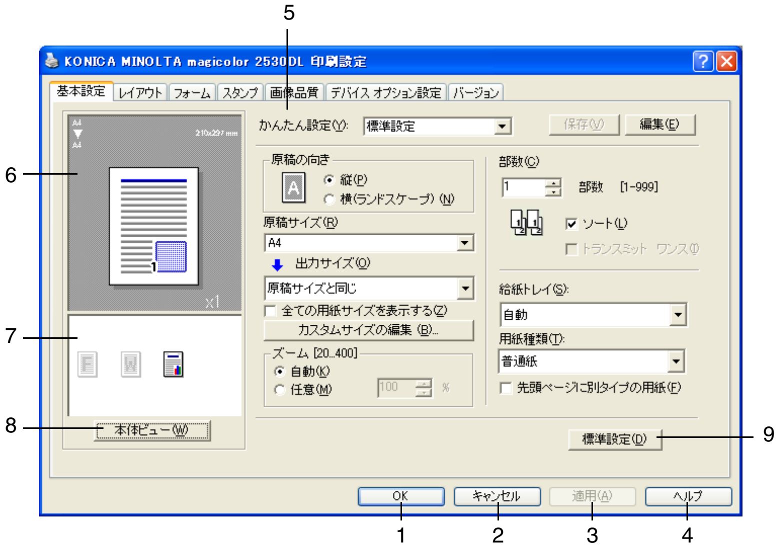
2 以下の操作で、プリンタドライバ設定画面を表示します。

- **Windows 2000 の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。
- **Windows Me/98SE の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。プロパティ画面で「プロパティ」タブをクリックします。
- **Windows NT 4.0 の場合**：「KONICA MINOLTA magicolor 2530DL」プリンタアイコンを右クリックし、「ドキュメントの既定値」をクリックします。

プリンタドライバの使いかた

管理者権限（Administrators グループ）以外のユーザー権限（Power Users/Users など）で使用する場合、管理者権限でプリンタドライバをインストール後、すべてのタブを開いてください。この手順を行わないと、タブ内の設定項目が正しく表示されません。

各タブで共通のボタン



1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

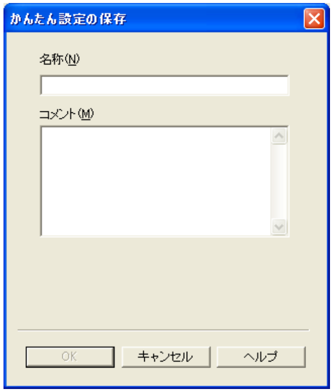
お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。

4. ヘルプ

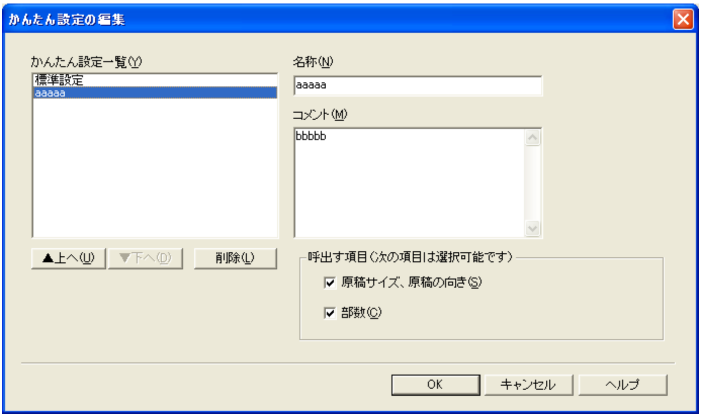
このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. かんたん設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。
名称、コメントを入力し、［OK］をクリックします。現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。



また、［編集］をクリックすると、かんたん設定画面が表示されます。



保存した設定の編集ができます。
ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

6. メインビュー

印刷ドキュメントのレイアウトや本体の全体イメージ図などを視覚的に表示します。

7. サブビュー

代表的な設定の状態をアイコンで表示します。

8. 本体ビュー / 用紙ビュー

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、［本体ビュー］ボタンが表示されます。［本体ビュー］をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。
プリンタの外観図が表示されている場合は、［用紙ビュー］ボタンが表示されます。［用紙ビュー］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「スタンプ」タブでは、［スタンプビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［スタンプビュー］をクリックすると、スタンプのプレビューが表示されます。
「画像品質」タブでは、［画像品質ビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［画像品質ビュー］をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

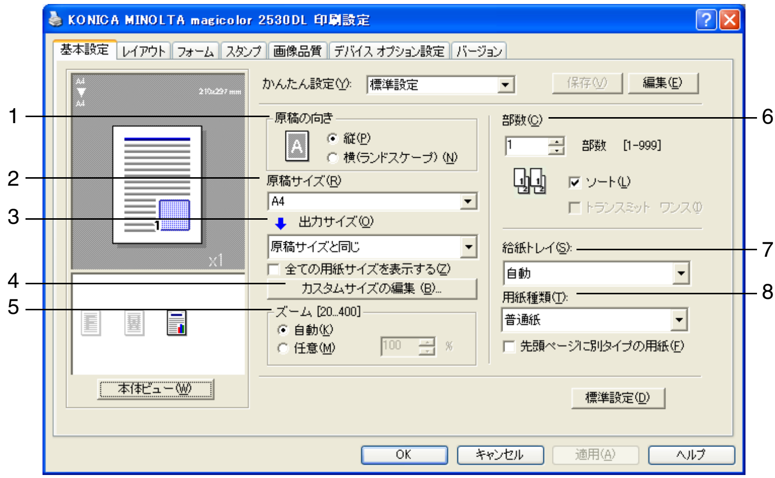
9. 標準設定

このボタンをクリックすると、設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

表示されているタブの設定のみ、標準設定に戻ります。その他タブの設定は変更されません。

「基本設定」タブ



1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横（ランドスケープ）」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

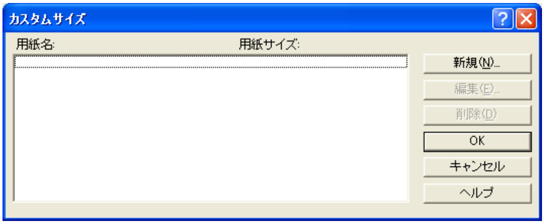
印刷する原稿のサイズを設定します。
「全ての用紙サイズを表示する。」チェックボックスをチェックすると、ドロップダウンリストに本プリンタで設定できるすべての用紙サイズが表示されます。

3. 出力サイズ

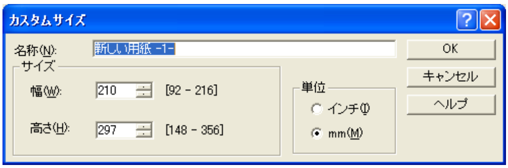
印刷する用紙のサイズを設定します。
「全ての用紙サイズを表示する。」チェックボックスをチェックすると、ドロップダウンリストに本プリンタで設定できるすべての用紙サイズが表示されます。

4. カスタムサイズの編集

［カスタムサイズの編集］をクリックすると、カスタムサイズ画面が表示され、登録してあるカスタムサイズの用紙を選択できます。登録してある用紙を選択すると [編集] ボタン、[削除] ボタンが有効になり、用紙の編集、削除ができます。



［新規］をクリックするとカスタムサイズの設定画面が表示されます。新たにカスタムサイズの用紙を登録できます。



5. ズーム

印刷倍率を設定します。

印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、20%から 400%の間で設定します。

6. 部数

印刷する部数を設定します。

「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

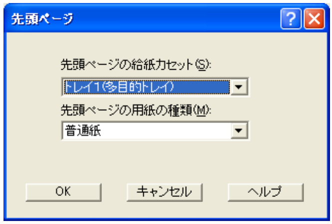
複数部数印刷する場合、「トランスミットワンス」チェックボックスが有効になります。チェックすると 1 部のみ先に出力し、2 部目以降のデータをプリンタ側で処理します。

7. 給紙トレイ

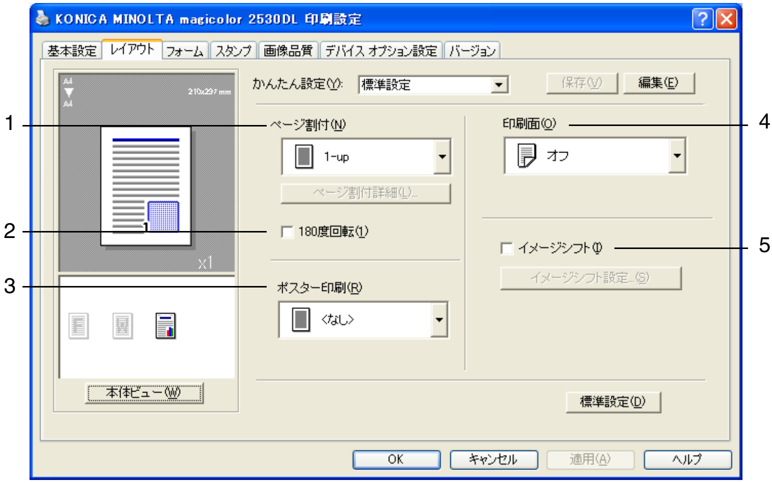
印刷に使用する給紙トレイを選択します。

8. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。
「先頭ページに別タイプの用紙」チェックボックスにチェックすると、先頭ページの設定画面が表示されます。先頭ページを出力する給紙カセットと用紙の種類を設定してください。

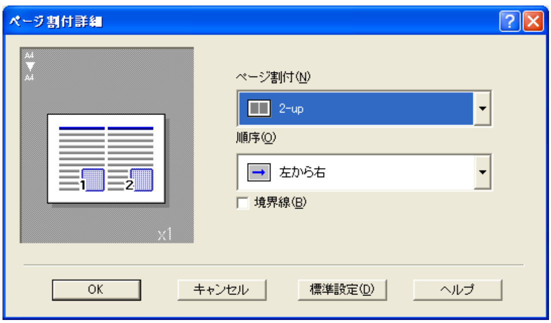


「レイアウト」タブ



1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
「1-up」以外の設定を選択すると、［ページ割付詳細］ボタンが有効になります。［ページ割付詳細］をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。



用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. ポスター印刷

原稿の画像を分割し、それぞれの分割画像を拡大印刷します。

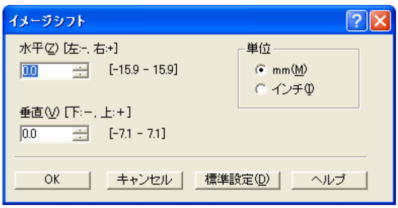
4. 印刷面

片面印刷の場合は「オフ」を、両面印刷の場合は綴じ方を「短辺綴じ」、「長辺綴じ」から選択します。

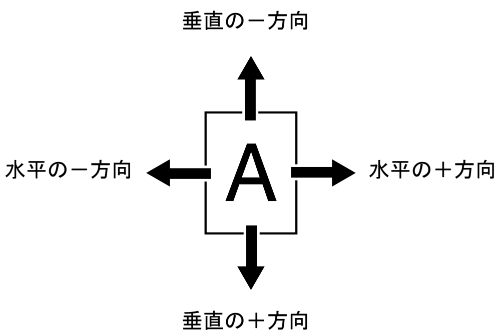
「短辺綴じ」、「長辺綴じ」は、オプションの両面プリントユニットを装着しプリンタドライバが正しく認識している場合に選択できます。両面プリントユニットが正しく認識されていない場合は、手動で認識させてください。詳細については、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.16）を参照してください。

5. イメージシフト

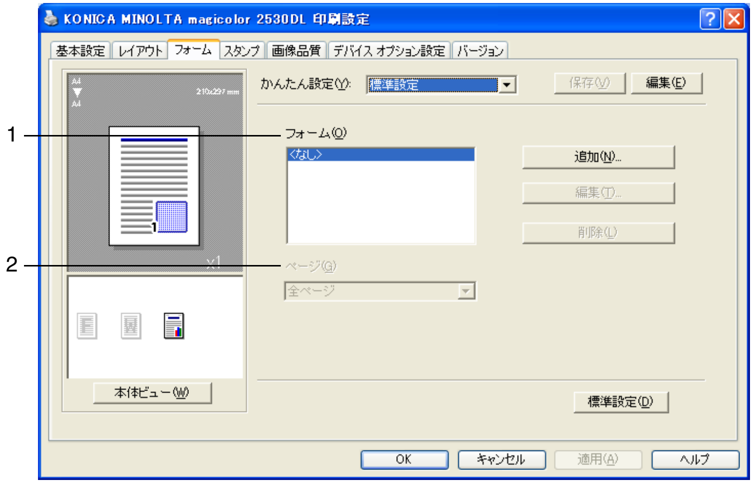
「イメージシフト」チェックボックスにチェックすると、ユーザが設定したプリント位置にプリントされます。
［イメージシフト設定］をクリックすると、イメージシフト設定画面が表示されます。プリント位置を設定します。



右図を参照してプリント位置を設定してください。

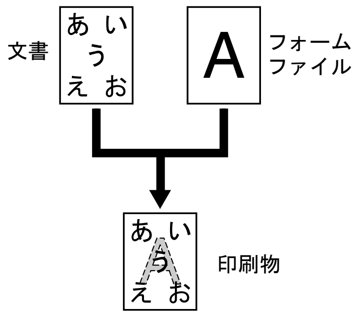


「フォーム」タブ

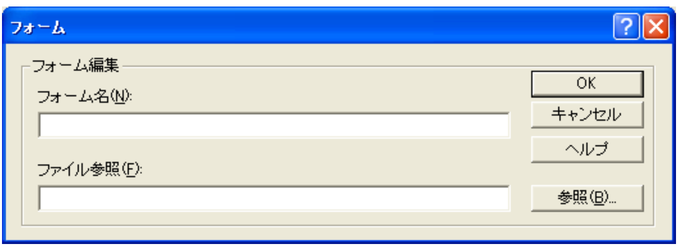


1. フォーム

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷を行います。



［追加］をクリックすると、フォームファイルの編集画面が表示されます。



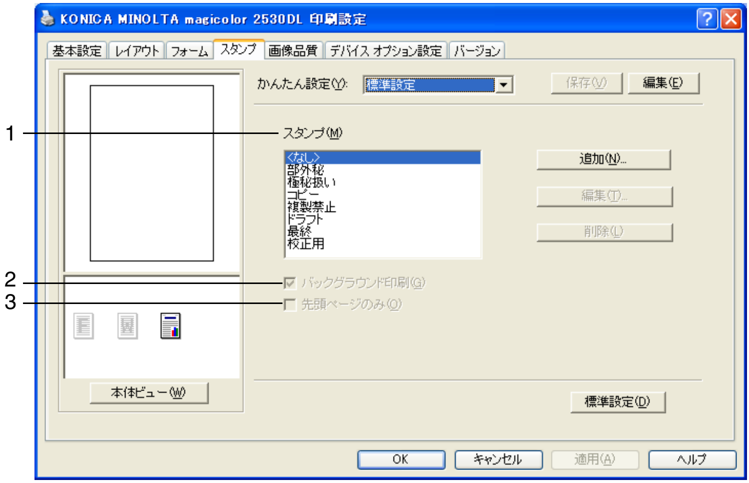
フォームファイル（*.prn）は magicolor 2530 DL のプリンタドライバで書き出したものを使用してください。

新たに追加するフォームファイルの設定を行います。追加したフォームファイルは「フォーム」タブのリストに追加されます。
また、リストのフォームファイルを選択すると、［編集］ボタン、［削除］ボタンが有効になります。フォームの編集、削除ができます。

2. ページ

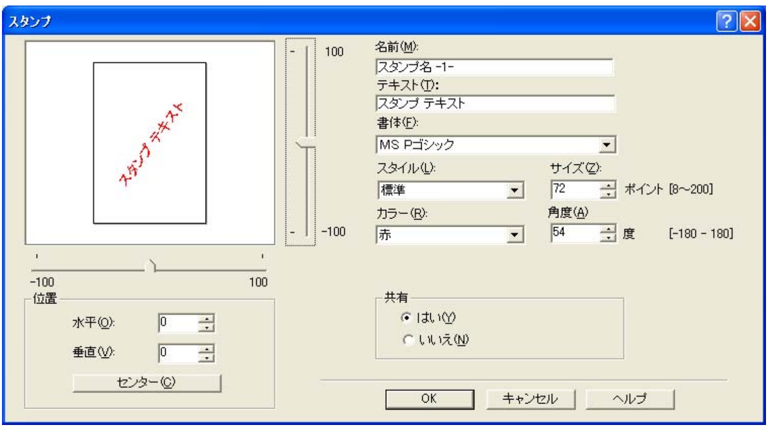
フォームを印刷するページを「全ページ」、「先頭ページ」から選択して設定します。

「スタンプ」タブ



1. スタンプ

印刷する文書に「部外秘」などのテキストを入れて印刷します。
［追加］をクリックすると、スタンプの作成・編集画面が表示されます。



新たにスタンプを作成します。作成したスタンプは「スタンプ」タブのリストに追加されます。
また、リストのスタンプを選択すると、［編集］ボタン、［削除］ボタンが有効になります。スタンプの編集、削除ができます。

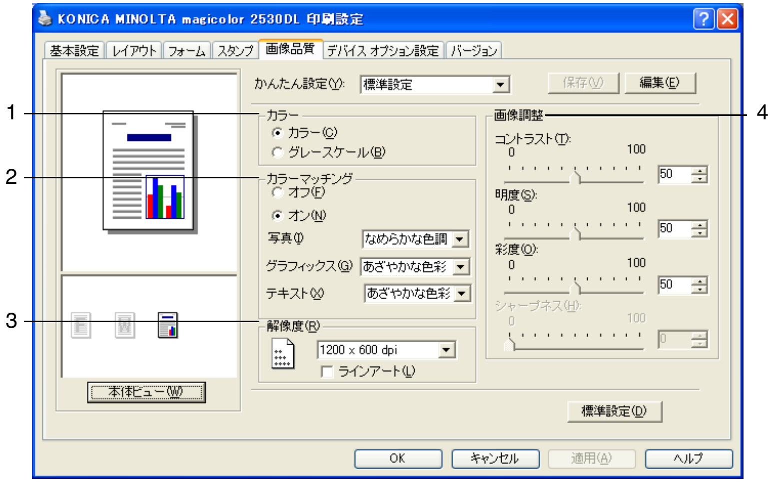
2. バックグラウンド印刷

「バックグラウンド印刷」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

3. 先頭ページのみ

「先頭ページのみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

「画像品質」タブ



1. カラー

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを選択します。

2. カラーマッチング

モニター上の色合いを忠実に表現するために、プリンタの色合いを調整するカラーマッチングを使用するかどうかを設定します。「オフ」に設定している場合は、カラーマッチングを使用しません。「オン」に設定している場合は、写真、グラフィックス、テキストに対して、以下の設定ができます。

– なめらかな色調：
  写真画像に適した設定です。この設定では、濃淡変化になるべく段差を生じない、滑らかな画像表現を行います。

– 測色的に一致：
  オリジナル画像の色合いに近い色合いを表現するのに適した設定です。ただしモニター上での色が鮮やかでプリンタでは表現できないような色の場合、プリンタで表現できるその色に最も近い色に置き換えられます。

– あざやかな色彩：
  ビジネスプレゼンテーション等の用途に適した設定です。この設定では、画像がなるべく鮮やかな色合いになるように表現されます。

DTP アプリケーション等では、アプリケーション側でプリンタに最適なデータとなるようにカラーマッチングを行い、プリンタにデータを送れるものがあります。アプリケーション側でこのような出力設定がされている場合は、プリンタのカラーマッチングを「オフ」に設定してください。

3. 解像度

印刷時の解像度を設定します。
「ラインアート」チェックボックスをチェックすると、さらに精密な画像の印刷ができます。ただしラインアートを使用している場合、表現できる階調数が少なくなります。

4. 画像調整

印刷する画像のコントラスト、明度、彩度、シャープネスを設定します。
「シャープネス」は、カラーマッチングを「オフ」にしたときのみ調整できます。スライダーバーを左右に移動することによって設定値の変更が可能です。

「デバイスオプション設定」タブ



1. デバイスオプション

オプションの装着に関する設定をします。

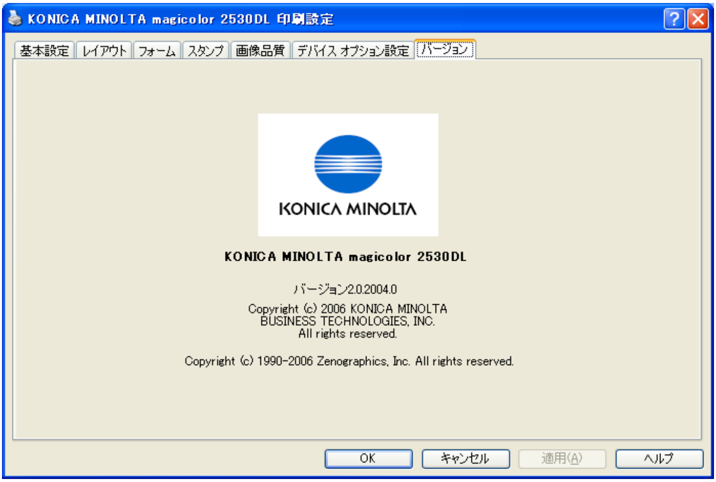
オプションの設定については、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.16）を参照してください。

2. ユーザー名

プリントジョブに付加するユーザー名を設定します。

「バージョン」タブ

プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。



3

ステータスディスプレイとプリンタステータスモニタセンター（Windows）の使いかた

ステータスディスプレイの使いかた

ステータスディスプレイで、プリンタと接続しているコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

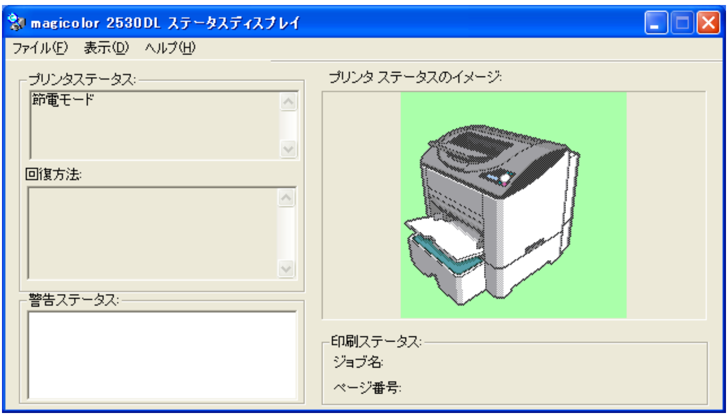
ステータスディスプレイは、管理者権限を持つユーザーのみが使用できます。

ステータスディスプレイを開く

以下の操作でステータスディスプレイを開きます。

- **Windows XP/Server 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 2530DL」を選択し、「ステータス」をクリックします。
- **Windows 2000/Me/98SE/NT4.0 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 2530DL」を選択し、「ステータス」をクリックします。

ステータスディスプレイの使いかた



- ステータスディスプレイ右側にあるプリンタの図の背景が緑色のときは、プリンタが待機状態であるか、問題なく印刷処理が行われている状態です。
- ステータスディスプレイ右側にあるプリンタの図の背景が赤色、または黄色のときは、何らかのエラーが発生し、プリントジョブが中断されている状態です。このとき、プリンタの状態とエラーメッセージが画面左側に表示されます。

ステータスディスプレイの機能は以下のとおりです。

■ **プリンタステータス**：プリンタの現在の状態を示すメッセージが表示されます。

■ **回復方法**：問題を解決し、エラー状態から復帰するために必要な情報が表示されます。

■ **警告ステータス**：注意が必要な状態（例：トナーの交換時期が近い）を知らせるメッセージが表示されます。

■ **プリンタステータスのイメージ**：プリンタの状態を示す図が表示され、エラーが発生したとき、問題のある場所が示されます。

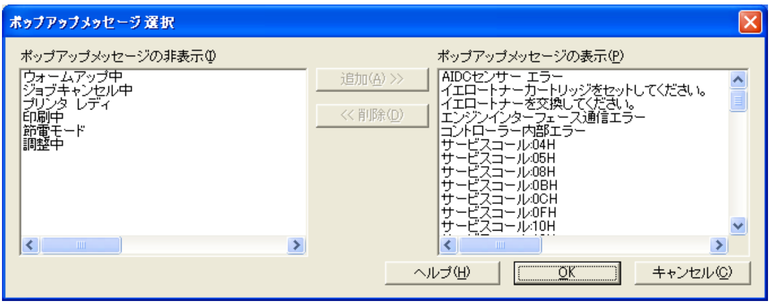
■ **印刷中ステータス**：処理中のプリントジョブの状態が表示されます。

ファイルメニュー

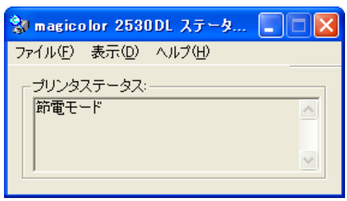
■ **終了**：ステータスディスプレイを終了します。

表示メニュー

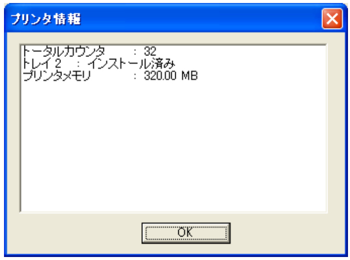
■ **ポップアップメッセージの選択**：プリンタの状態の中で、どの状態をポップアップ表示させるかを指定することができます。



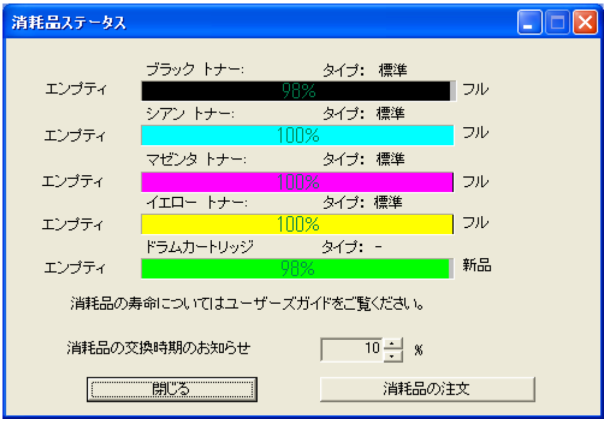
■ **縮小／拡大**：「縮小」を選択すると、画面サイズが小さくなり、プリンタステータスのみ表示されます。「拡大」を選択すると画面サイズが大きくなり、プリンタステータス以外の情報も表示されます。



■ **プリンタ情報**：プリント枚数などの情報を確認できます。



■ **消耗品状況**：各トナーカートリッジの残容量（約何%残っているか）が表示されます。



ステータスディスプレイの警告の確認

ステータスディスプレイがプリンタの問題を検知すると、タスクバーにあるアイコンが、プリンタの問題の重大度によって、緑色から黄色、赤色に変わります。

ステータスディスプレイの警告の解除

ステータスディスプレイがプリンタに問題の発生を表示しているときに、Windows のタスクバーにあるステータスディスプレイのアイコンをダブルクリックしてステータスディスプレイを開きます。ステータスディスプレイには、発生したエラーの内容が表示されます。

ステータスディスプレイを閉じる

ステータスディスプレイを終了するときは、「ファイル」メニューから「終了」を選択してください。

ステータスディスプレイの画面右上の［×］ボタンをクリックすると、画面は閉じますが、タスクバーの右端に最小化されアイコンとして残ります（終了しません）。アイコンをダブルクリックすると、ステータスディスプレイが再度表示されます。

プリンタステータスモニタセンターの使いかた

プリンタステータスモニタセンターはローカルポート（USB）、またはネットワークポートを通してホストに接続されているプリンタの状態を確認できます。プリンタステータスモニタセンターは、SLP（Service Location Protocol）を利用してネットワーク上のプリンタを認識します。magicolor 2300 DL や magicolor 5430 DL、magicolor 5440 DL、magicolor 2530 DL のように SLP と、コニカミノルタ固有の PJL に対応しているプリンタのみ対応します。

コニカミノルタ製品の複合機などがプリンタステータスモニタセンターに表示されることがありますが、正しく表示されない場合があります。プリンタステータスモニタセンターは magicolor 2300 DL、magicolor 2430 DL、magicolor 5430 DL、magicolor 5440 DL、magicolor 2530 DL の 5 機種にのみ対応しています。

必要なシステム

- オペレーティングシステム
  Windows XP/Server 2003/2000/Me/98SE/NT 4.0
- プリンタステータスモニタセンターでサポートしているプリンタポート
  - イーサネットポート
  - USB ポート

プリンタステータスモニタセンターを開く／消耗品の状態を確認する

以下の操作でプリンタステータスモニタセンターを開きます。

- **Windows XP/Server 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 2530DL」を選択し、「プリンタステータスモニタセンター」をクリックします。
- **Windows 2000/Me/98SE/NT 4.0 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 2530DL」を選択し、「プリンタステータスモニタセンター」をクリックします。

プリンタステータスモニタセンターの使いかた



- **プリンタ名**：ローカルプリンタ、および同一ネットワーク上のプリンタのモデル名が表示され、プリンタのアイコンが表示されます。プリンタアイコンはプリンタの状態、接続状況により色が変わります。赤色の場合はエラー、黄色の場合は警告を意味します。緑色の場合は通常の状態です。
  プリンタ名をダブルクリックすると、ステータスディスプレイまたは PageScope Web Connection が表示されます。

本プリンタをローカル接続している場合は、プリンタ名をダブルクリックすると、ステータスディスプレイが表示されます。
本プリンタをネットワーク接続している場合は、ステータスディスプレイと PageScope Web Connection のどちらを表示するかを「アクション」メニューのオプション画面で選択できます。
本プリンタ以外の magicolor 製品は、ネットワーク接続している場合、PageScope Web Connection が表示されます。

選択したプリンタがステータスディスプレイまたは PageScope Web Connection に対応していない場合は、プリンタ名をダブルクリックしても表示されません。

ローカル接続で USB に接続されていなかったり、ステータスに「接続できません。」と表示されるときは、プリンタ名をダブルクリックしてもステータスディスプレイや PageScope Web Connection は、表示されません。

プリンタの名前が検出できない場合、プリンタ名は「不明」と表示されます。

- **ポート**：プリンタが接続されているポート名が表示されます。
  ローカルプリンタの場合は、USB の種類が表示されます。
  ネットワークプリンタの場合は、IP アドレスが表示されます。

同一プリンタに複数のポート名称が作成されているとき、一台のプリンタに対して、プリンタステータスモニタセンターに複数の表示がされる場合があります。表示されている複数のポートはいずれの状態も同じ結果が得られますので、複数表示のまま使用しても問題はありません。
プリンタステータスモニタセンターでの表示を一つにする場合は、IP アドレスのみで作成したポート名称のポートのみを使用してください。

■ **ステータス**：プリンタの状態を示します。ステータスディスプレイの「プリンタステータス」と同じ内容が表示されます。

プリンタの電源が入っていない場合、プリンタステータスモニタセンターのステータスには「接続できません。」と表示されます。

■ **消耗品ステータス / 残量 C、M、Y、K %**：トナーカートリッジのおおよその残量がパーセンテージ表示されます。数値は左から、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の順に表示されます。

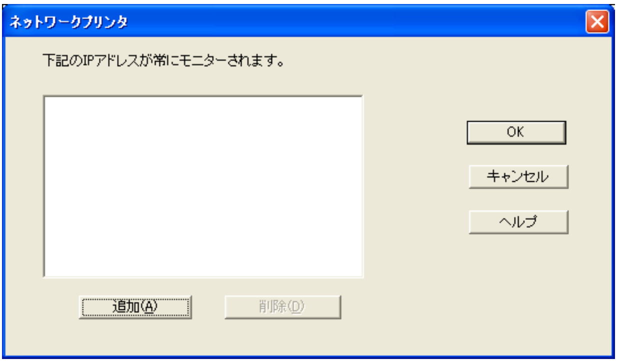
各列のヘッダー部分をクリックすると、降順または昇順に並びかわります。

アクションメニュー

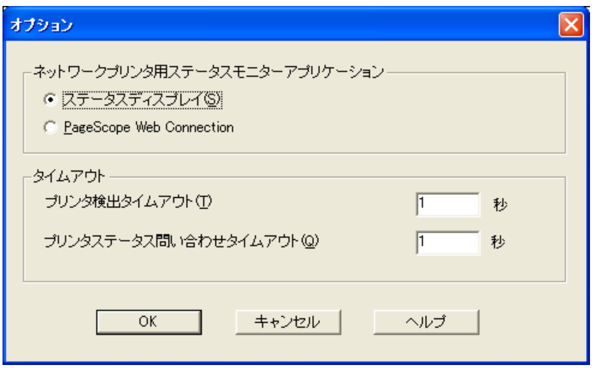
- **プリンタのアップデート**：ネットワーク内のプリンタを再検索します。
- **ネットワークプリンタ**：ネットワーク上で検出できなかったプリンタの IP アドレスの追加や、検出する必要のないプリンタの IP アドレスの削除ができます。

本メニューで magicolor 2300 DL、magicolor 2430 DL、magicolor 5430 DL、magicolor 5440 DL 、magicolor 2530 DL 以外のプリンタの IP アドレスを登録した場合、そのアドレスのプリンタ機種を判断する間、プリンタステータスモニタセンターには「不明」と表示されます。「アクション」メニューの「プリンタのアップデート」を実行すると、プリンタステータスモニタセンターの表示から削除されます。

本メニューで登録したプリンタのプリンタ名は、あらかじめプリンタに登録されているプリンタ名が表示されます。



- **オプション**：プリンタ名をダブルクリックしたときに表示されるアプリケーションとタイムアウトの時間を設定します。



ネットワークプリンタ用ステータスモニターアプリケーション	画面に表示されるプリンタ名をダブルクリックしたときに、ステータスディスプレイを表示させるか、PageScope Web Connection を表示させるかを設定します。初期設定はステータスディスプレイです。この設定は、ネットワーク接続している本プリンタのみ有効です。
タイムアウト	2 種類のタイムアウトの時間を設定できます。 ■ プリンタ検出タイムアウト ■ プリンタステータス問い合わせタイムアウト

プリンタステータスモニタセンターのバージョン情報は、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」で確認できます。プリンタステータスモニタセンターのバージョン情報は、プリンタドライバのバージョン情報と同じです。

プリンタステータスモニタセンターの警告の確認

赤いアイコン、または黄色いアイコンが表示されるときは、ステータスディスプレイまたは PageScope Web Connection を開いて、詳細情報を確認してください。ステータスディスプレイについて詳しくは、「ステータスディスプレイの使いかた」（p.38）をごらんください。また、PageScope Web Connection について詳しくは、「magicolor 2530 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

プリンタステータスモニタセンターを閉じる

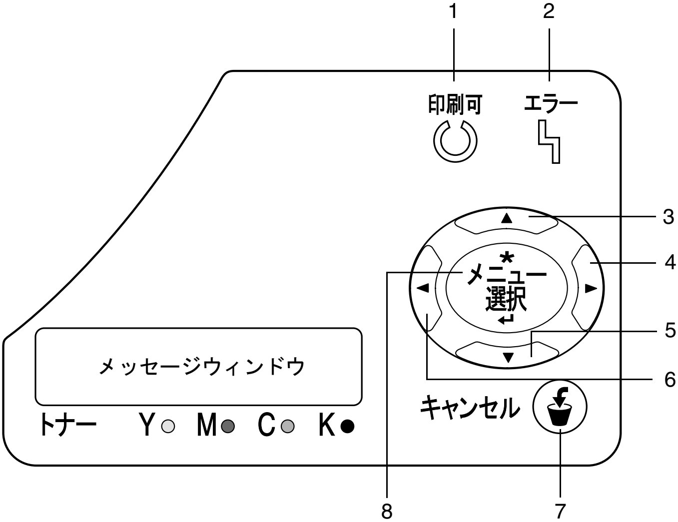
プリンタステータスモニタセンターを閉じるときは、「アクション」メニューから「終了」を選択するか、プリンタステータスモニタセンター画面の右上にある［×］ボタンをクリックしてください。

4

操作パネルとメニュー

操作パネルについて

プリンタ上部にある操作パネルでは、直接プリンタの操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウにはプリンタの状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。



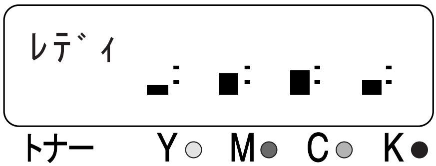
操作パネルのランプ／キー

No.	ランプ	オフ	オン
1	印刷可	印刷可能（データ受信可能）な状態になっていません。	印刷可能（データ受信可能）な状態です。
2	エラー	問題なし。	操作が必要であることを示しています。（通常、メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。）

No.	キー	機能
3	▲	■ 現在表示されているメニューの上のメニューレベルに戻ります。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の前の文字が表示されます。
4	▶	■ 表示されているメニュー／設定項目の右のメニュー／設定項目を表示します。 ■ カーソルを 1 カラム右へ移動します。
5	▼	■ 表示中のメニューが選択され、サブメニューまたは設定項目が表示されます。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の次の文字が表示されます。
6	◀	■ 表示されているメニュー／設定項目の左のメニュー／設定項目を表示します。 ■ カーソルを 1 カラム左へ移動します。
7	ｷｬﾝｾﾙ	■ 表示中のメニューや、設定変更を取り消します。 ■ 印刷中に、操作パネルから（すべてのあるいは現在処理中の）ジョブをキャンセルできます。 1. ［キャンセル］キーを押します。 2. ◀ または ▶ キーを押して「ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ / ｹﾞﾝｻﾞｲﾉｼﾞｮﾌﾞ」または「ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ / ｽﾍﾞﾃﾉｼﾞｮﾌﾞ」を選択します。 3. ［メニュー選択］キーを押します。 プリントジョブがキャンセルされます。
8	* メニュー選択 ↵	■ 設定メニューが表示されます。 ■ サブメニューあるいは設定項目が表示されます。 ■ 表示されている項目が選択されます。

トナー残量の表示について

イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各トナーカートリッジのトナー残量はメッセージウィンドウに以下のように表示されます。

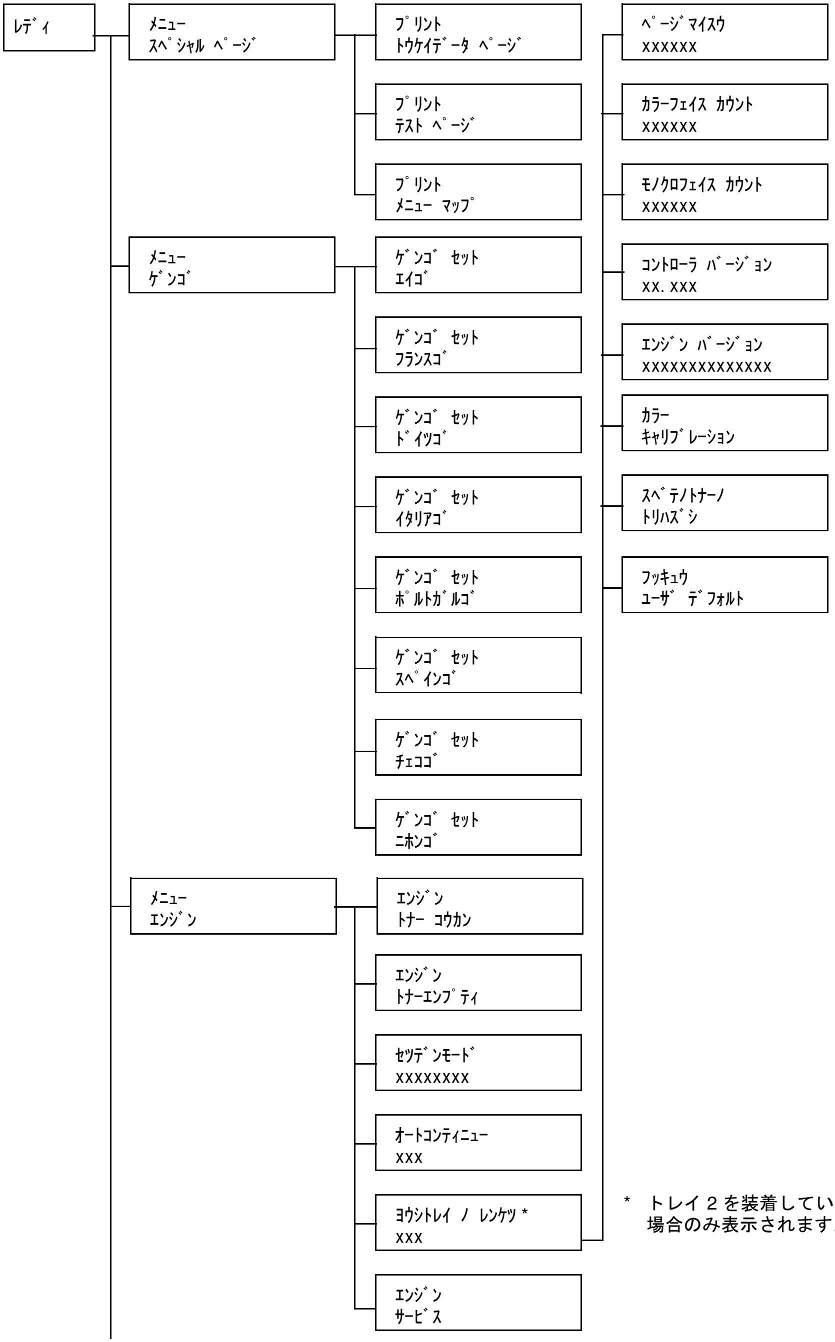


操作パネルのメニュー一覧

本プリンタの操作パネルで設定できるメニューの構成を以下に示します。

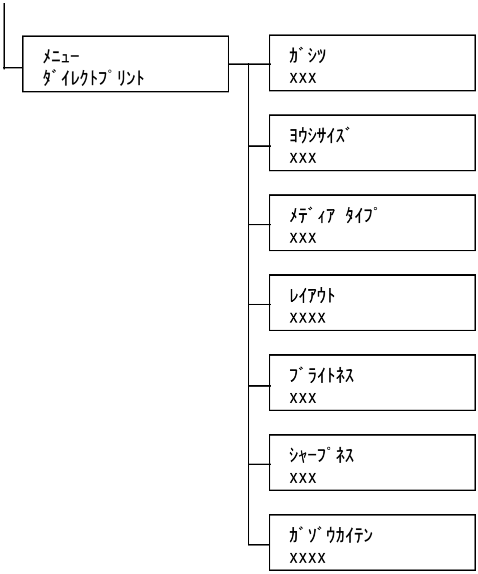
太字は工場出荷時の設定値を表します。

メニューの構成



* トレイ 2 を装着している場合のみ表示されます。

- ﾒﾆｭｰ ﾈｯﾄﾜｰｸ
  - DHCP:xx / BOOTP:xx
  - IP ｱﾄﾞﾚｽ / xxx.xxx.xxx.xxx
  - ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ / xxx.xxx.xxx.xxx
  - ｹﾞｰﾄｳｪｲ / xxx.xxx.xxx.xxx
  - HW ｱﾄﾞﾚｽ / 00206Bxxxxxx
  - HTTP:xx
  - SNMP:xx
  - ﾈｯﾄﾜｰｸﾓｰﾄﾞｼﾃｲ / xx/xx/xx
- ﾒﾆｭｰ ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｼﾖｳ
  - ﾌﾞﾗｯｸ ﾄﾅｰ / ﾉｺﾘ xx%
  - ｼｱﾝ ﾄﾅｰ / ﾉｺﾘ xx%
  - ﾏｾﾞﾝﾀ ﾄﾅｰ / ﾉｺﾘ xx%
  - ｲｴﾛｰ ﾄﾅｰ / ﾉｺﾘ xx%
  - ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ / ﾉｺﾘ xx%


ﾒﾆｭｰ
ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ
ｶﾞｼﾂ
XXX
ﾖｳｼｻｲｽﾞ
XXX
ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ
XXX
ﾚｲｱｳﾄ
XXXX
ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ
XXX
ｼｬｰﾌﾟﾈｽ
XXX
ｶﾞｿﾞｳｶｲﾃﾝ
XXXX

スペシャルページメニュー

ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ	プリンタの設定内容（コンフィグレーションページ）を印刷します。
ﾃｽﾄ ﾍﾟｰｼﾞ	テストページを印刷します。
ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ	メニューマップを印刷します。（英語版のメニューのみ）

ゲンゴメニュー

ｴｲｺﾞ／ﾌﾗﾝｽｺﾞ／ﾄﾞｲﾂｺﾞ／ｲﾀﾘｱｺﾞ／ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙｺﾞ／ｽﾍﾟｲﾝｺﾞ／ﾁｪｺｺﾞ／ﾆﾎﾝｺﾞ	メッセージウィンドウの表示言語を選択した言語に切り替えることができます。初期設定は「ﾆﾎﾝｺﾞ」です。

エンジンメニュー

ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ	設定	ﾌﾞﾗｯｸﾄﾅｰ / ｲｴﾛｰﾄﾅｰ / ﾏｾﾞﾝﾀﾄﾅｰ / ｼｱﾝﾄﾅｰ / ｽﾍﾞﾃﾉﾄﾅｰ
	交換するトナーカートリッジの色を選択します。 交換するトナーカートリッジの色を選択すると、ラックが自動的に回転し、選択したトナーカートリッジが交換位置へと移動します。 「ｽﾍﾞﾃﾉﾄﾅｰ」を選択すると、最初にシアントナーカートリッジが交換位置に停止します。交換後、全てのカバーを閉じると、ブラックトナーカートリッジが自動的に交換位置に停止します。同様に、イエロートナーカートリッジ、マゼンタトナーカートリッジの順に交換位置に停止します。 トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジの交換手順」（p.98）をごらんください。	
ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ	設定	ｽﾄｯﾌﾟ / ｺﾝﾃｨﾆｭｰ
	「ｺﾝﾃｨﾆｭｰ」に設定すると、トナーがなくなっても印刷を続行します。 「ｽﾄｯﾌﾟ」に設定すると、トナーがなくなった時に印刷を停止します。	
ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ	設定	15 ﾌﾝ /30 ﾌﾟﾝ /60 ﾌﾟﾝ
	プリンタがプリントジョブを受信しなくなってから、あるいは操作をしなくなってから節電モードに入るまでの時間を設定します。 節電モードは以下の場合、自動的に解除されます。 ■ プリンタ本体の再起動が行われた場合 ■ ジョブを受信した場合 ■ 操作パネルのキーを押した場合 ■ トップカバーを開け閉めした場合	
ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	「ｵﾝ」に設定すると、印刷データの用紙サイズと指定した給紙トレイの用紙サイズが異なる場合でも、印刷を続行します。 印刷中でも「ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ」設定を変更することができます。印刷中のジョブが終了すると変更した設定が有効となります。	

ﾖｳｼﾄﾚｲ ﾉ ﾚﾝｹﾂ	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	「ｵﾝ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 「ｵﾌ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止し、用紙の補給が必要であることを示すメッセージが表示されます。	
ｴﾝｼﾞﾝ / ｻｰﾋﾞｽ	エンジンに関する情報を確認できます。	
	ﾍﾟｰｼﾞ ﾏｲｽｳ	本プリンタでこれまで印刷したページ数を表示します。
	ｶﾗｰﾌｪｲｽ ｶｳﾝﾄ	本プリンタでこれまで印刷したカラーページ数を表示します。
	ﾓﾉｸﾛﾌｪｲｽ ｶｳﾝﾄ	本プリンタでこれまで印刷したモノクロページ数を表示します。
	ｺﾝﾄﾛｰﾗ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	コントローラのファームウェアのバージョンを表示します。
	ｴﾝｼﾞﾝ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	プリンタエンジンのファームウェアのバージョンを表示します。
	ｶﾗｰ ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ	カラー調整のためカラーキャリブレーション処理を実行します。
	ｽﾍﾞﾃﾉﾄﾅｰﾉ ﾄﾘﾊｽﾞｼ	全てのトナーカートリッジが取り外し可能になります。 最初にシアントナーカートリッジが交換位置に停止します。取り外し後、全てのカバーを閉じると、ブラックトナーカートリッジが自動的に交換位置に停止します。同様に、イエロートナーカートリッジ、マゼンタトナーカートリッジの順に交換位置に停止します。
	ﾌｯｷｭｳ ﾕｰｻﾞﾃﾞﾌｫﾙﾄ	ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ、ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ、ﾖｳｼﾄﾚｲﾉﾚﾝｹﾂの設定を工場出荷時の状態に戻します。PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）も工場出荷時の番号に戻ります。 PageScope Weg Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「magicolor 2530 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

ネットワークメニュー

本プリンタをネットワークに接続している場合、以下の項目を設定します。各設定の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

DHCP	設定	DHCP ｾｯﾄ：ｵﾝ BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾌ
		DHCP ｾｯﾄ：ｵﾌ BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾝ
		DHCP ｾｯﾄ：ｵﾌ BOOTP ｾｯﾄ：ｵﾌ
	ネットワーク内に DHCP サーバがある場合、DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得、他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。 「DHCP」と「BOOTP」のどちらかを「ｵﾝ」または両方「ｵﾌ」に設定します。	
BOOTP	BOOTP で自動的に IP アドレスを取得、他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。 「DHCP」と「BOOTP」のどちらかを「ｵﾝ」または両方「ｵﾌ」に設定します。	
IP ｱﾄﾞﾚｽ	設定	192.168.1.2
	本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。 上下左右キーを使って値を入力します。 手動で IP アドレスを設定する場合は、はじめに「DHCP」と「BOOTP」の設定を「ｵﾌ」にしてください。	
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	設定	255.255.255.0
	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。上下左右キーを使って値を入力します。 手動でサブネットマスクを設定する場合は、はじめに「DHCP」と「BOOTP」の設定を「ｵﾌ」にしてください。	

ｹﾞｰﾄｳｪｲ	設定	192.168.1.1
	ネットワークにルータがある場合に、ルータの IP アドレスを設定します。上下左右キーを使って値を入力します。 手動でゲートウェイを設定する場合は、はじめに「DHCP」と「BOOTP」の設定を「ｵﾌ」にしてください。	
HW ｱﾄﾞﾚｽ	本プリンタのイーサネット（Ethernet）ハードウェアアドレスを見ることができます。（変更はできません。）	
HTTP	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	HTTP を「ｵﾝ」または「ｵﾌ」に設定します。HTTP を「ｵﾝ」にすると、プリンタに内蔵の HTTP サーバが提供する Web ページが有効になります。「ｵﾌ」にすると無効になります。 本設定の変更を有効にするためには、プリンタを再起動してください。	
SNMP	設定	ｵﾝ / ｵﾌ
	SNMP はネットワーク管理の標準プロトコルです。SNMP を「ｵﾝ」または「ｵﾌ」に設定します。 本設定の変更を有効にするためには、プリンタを再起動してください。	

ﾈｯﾄﾜｰｸﾓｰﾄﾞｼﾃｲ	設定	**ｵｰﾄ/ｵｰﾄ/ｵﾝ** / ｵｰﾄ/ﾌﾙ/ｵﾝ / ｵｰﾄ/ﾊｰﾌ/ｵﾝ / 100M/ｵｰﾄ/ｵﾝ / 100M/ﾌﾙ/ｵﾝ / 100M/ﾌﾙ/ｵﾌ / 100M/ﾊｰﾌ/ｵﾝ / 100M/ﾊｰﾌ/ｵﾌ / 10M/ｵｰﾄ/ｵﾝ / 10M/ﾌﾙ/ｵﾝ / 10M/ﾌﾙ/ｵﾌ / 10M/ﾊｰﾌ/ｵﾝ / 10M/ ﾊｰﾌ / ｵﾌ
	ごく一部のハブにおいて、ネットワーク速度や構成を固定する設定で使用した場合、プリンタがハブと通信できない事があります。この場合ハブの設定に合わせ、ﾈｯﾄﾜｰｸﾓｰﾄﾞｼﾃｲメニューを適切な設定に変更することで通信ができるようになります。 ■ 1 つ目の項目（ｿｸﾄﾞ）はネットワークの通信速度の設定を表します。 10Base-T の接続（10M）、100Base-TX の接続（100M）、自動認識（ｵｰﾄ）から選択します。ｵｰﾄに設定した場合、通信速度はネゴシエーションによって決定するため、ネゴシエーションがｵﾌの組み合わせは存在しません。 ■ 2 つ目の項目（DUPLEX）は双方向通信での通信方式の設定を表します。 同時に双方向のデータをやり取りする（ﾌﾙ）、片方向ずつデータをやり取りする（ﾊｰﾌ）、自動認識（ｵｰﾄ）から選択します。ｵｰﾄに設定した場合、通信方式はネゴシエーションによって決定するため、ネゴシエーションがｵﾌの組み合わせは存在しません。 ■ 3 つ目の項目（ﾈｺﾞ）はネゴシエーション（通信速度などの情報を相互にやりとし通信設定を決定する）の設定を表します。 ｵﾝに設定した場合はネゴシエーションを実施し、ｵﾌに設定した場合はネゴシエーションを実施しません。	

ショウモウヒン シヨウメニュー

ﾌﾞﾗｯｸﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（ブラック）のおおよそのトナー残量が表示されます。
ｼｱﾝﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（シアン）のおおよそのトナー残量が表示されます。
ｲｴﾛｰﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（イエロー）のおおよそのトナー残量が表示されます。
ﾏｾﾞﾝﾀﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（マゼンタ）のおおよそのトナー残量が表示されます。
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞ	ドラムカートリッジのおおよその寿命が表示されます。

ダイレクトプリントメニュー

以下のメニューはデジタルカメラでの設定がされていない場合に有効です。

ダイレクトプリントの詳しい説明については「ダイレクト プリント」（p.63）をごらんください。

ｶﾞｼﾂ	設定	ﾄﾞﾗﾌﾄ / ﾉｰﾏﾙ / ﾌｧｲﾝ
	プリント画像の解像度を設定します。 「ﾄﾞﾗﾌﾄ」（600 × 600 dpi）と「ﾉｰﾏﾙ」（1200 × 600 dpi）、「ﾌｧｲﾝ」（2400 × 600 dpi）の 3 つの設定があります。 128MB 以上のメモリを取り付けていない場合、「ﾉｰﾏﾙ」、「ﾌｧｲﾝ」は選択できません。	

ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ	設定	ﾚﾀｰ/**A4**/A5/STATEMENT/ｶﾝｾｲﾊｶﾞｷ/ﾌｫﾄｻｲｽﾞ 4X6"/ﾌｫﾄｻｲｽﾞ 10X15/ﾚﾀｰ 2-UP 4X6ｲﾝﾁ/A4 4-UP Lｻｲｽﾞ/A4 2-UP 10X15ｾﾝﾁ
	用紙サイズを設定します。 「ﾌｫﾄｻｲｽﾞ 4X6"」、「ﾌｫﾄｻｲｽﾞ 10X15」、「ﾚﾀｰ 2-UP 4X6ｲﾝﾁ」、「A4 4-UP Lｻｲｽﾞ」、「A4 2-UP 10X15ｾﾝﾁ」に設定した場合は、用紙種類は光沢紙に自動的に変更されます。ただし、操作パネルの「ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ」/「ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ」にこの設定は反映されません。 「ﾚﾀｰ 2-UP 4X6ｲﾝﾁ」、「A4 4-UP Lｻｲｽﾞ」、「A4 2-UP 10X15ｾﾝﾁ」に設定した場合は、自動的に 2-UP または 4-UP で印刷されます。ただし、操作パネルの「ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ」/「ﾚｲｱｳﾄ」にこの設定は反映されません。 「A4 4-UP Lｻｲｽﾞ」を選択した場合、A4 用紙に 4 枚の画像が印字されますが、サイズは L サイズよりやや大きめのサイズで印字されます。L サイズにカットしてご利用いただくことが可能です。	
ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ	設定	**ﾌﾂｳｼ**/ｱﾂｶﾞﾐ/ｺｳﾀｸｼ/ｶﾝｾｲﾊｶﾞｷ/ﾗﾍﾞﾙ
	用紙種類を設定します。	
ﾚｲｱｳﾄ	設定	**1-UP**/2-UP/3-UP/4-UP/6-UP/8-UP
	一枚の用紙に印刷する画像の数を選択できます。 「1-UP」に設定した場合は、一枚の用紙に 1 つの画像が印刷されます。	
ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ	設定	**ｵﾌ**/ｵﾝ
	色の濃度を変更できます。 「ｵﾝ」に設定すると、画像がより明るく印刷されます。	
ｼｬｰﾌﾟﾈｽ	設定	**ｵﾌ**/ｵﾝ
	中間色の鮮やかさを変更できます。 「ｵﾝ」に設定すると、画像の中間色がより鮮やかに印刷されます。	

<table>
<tr><td rowspan="2">ｶﾞｿﾞｳｶｲﾃﾝ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ｵﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">画像を回転し用紙のサイズに合わせてプリントできます。

「ｵﾝ」に設定すると、画像が時計回りに 90 度回転して印刷されます。

本設定は、「ﾚｲｱｳﾄ」が「1-UP」または「4-UP」に設定されている時のみ有効です。</td></tr>
</table>

ダイレクトプリント

5

画像を直接印刷する

PictBridge（1.0 以降）対応のデジタルカメラとプリンタを USB で接続し、デジタルカメラに納められた画像を直接印刷することができます。

デジタルカメラからはがきに直接印刷する場合、用紙の端から 17 mm をのぞく領域が、印刷可能領域になります。

本プリンタでは、下記の機能をサポートしません。
トリミング印刷
サイズ固定印刷
フチなし印刷
DPOF 印刷

デジタルカメラから直接印刷する

1 必要に応じてプリンタの操作パネルで、「ｶﾞｼﾂ」、「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」、「ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ」、「ﾚｲｱｳﾄ」、「ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ」、「ｼｬｰﾌﾟﾈｽ」、「ｶﾞｿﾞｳｶｲﾃﾝ」を設定します。

画像を印刷する用紙の種類は、プリンタの「ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄ」メニューの「ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ」でのみ設定できます。
デジタルカメラ側で用紙種類を選択することはできません。

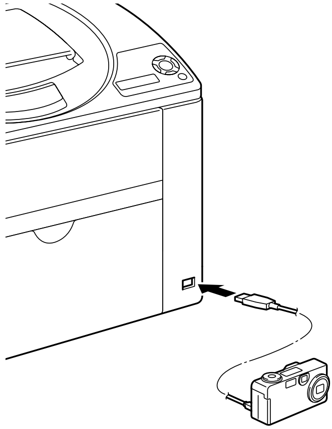
プリンタの「ﾀﾞｲﾚｸﾄﾌﾟﾘﾝﾄﾒﾆｭｰ」の「ﾖｳｼｻｲｽﾞ」の設定と、デジタルカメラ側の設定で、用紙サイズの設定を合わせてください。

デジタルカメラ側でこれらの設定（用紙種類および用紙サイズの設定は除く）が出来る場合は、操作パネルでの設定は必要ありません。デジタルカメラでの設定が操作パネルの設定より優先されます。
操作パネルでの詳しい設定については、「ダイレクトプリントメニュー」（p.60）をごらんください。

2 デジタルカメラと、ダイレクトプリントポートを USB ケーブルで接続します。

3 デジタルカメラから、印刷したい画像と枚数の設定をします。

4 デジタルカメラで印刷を開始します。



用紙の取り扱い

6

使用できる出力用紙サイズ

本プリンタでは以下の用紙が使用できます。

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1/2	○
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3	1	×
B5（JIS)	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1	1	×
B5（ISO)	176.0 × 250.0	6.9 × 9.8	1	×
エグゼクティブ	184.0 × 267.0	7.25 × 10.5	1	×
フォリオ	210.0 × 330.0	8.3 × 13.0	1	○
フールスキャップ	203.2 × 330.2	8.0 × 13.0	1	○
開 16	185.0 × 260.0	7.3 × 10.2	1	×
開 32	130.0 × 185.0	5.1 × 7.3	1	×
16K	195.0 × 270.0	7.7 × 10.6	1	×
リーガル	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0	1	○
ガバメントリーガル	216.0 × 330.0	8.5 × 13.0	1	○
レター	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0	1/2	○
レタープラス	215.9 × 322.3	8.5 × 12.69	1	×
ガバメントレター	203.2 × 266.7	8.0 × 10.5	1	×
ステートメント	140.0 × 216.0	5.5 × 8.5	1	×
UK クァトロ	203.2 × 254.0	8.0 × 10.0	1	×
官製ハガキ	100.0 × 148.0	3.9 × 5.8	1	×
往復ハガキ	148.0 × 200.0	5.8 × 7.9	1	×
封筒 C5	162.0 × 229.0	6.4 × 9.0	1	×
封筒 DL	110.0 × 220.0	4.3 × 8.7	1	×
封筒 Com10	104.8 × 241.3	4.125 × 9.5	1	×
封筒 洋形 2 号	114.0 × 162.0	4.5 × 6.4	1	×
封筒 洋形 6 号	98.4 × 190.5	3.875 × 7.5	1	×
封筒 洋形 0 号	120.0 × 235.0	4.7 × 9.2	1	×
封筒 洋形 4 号	105.0 × 235.0	4.1 × 9.3	1	×
封筒 長形 4 号	90.0 × 205.0	3.5 × 8.1	1	×
フォトサイズ 4×6"	102.0 × 152.0	4.0 × 6.0	1	×

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ	両面印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）		
フォトサイズ 10×15	102.0 × 152.0	4.0 × 6.0	1	×
カスタムサイズ（最小値）	92.0 × 148.0	3.6 × 5.9	1	×
カスタムサイズ（最大値）	216.0 × 356.0	8.5 × 14.0	1	×

厚紙、光沢紙、OHP フィルムは、A4/ レターサイズまたはそれ以下の用紙サイズのみサポートしています。

カスタムサイズは上の表の数値の範囲でプリンタドライバから設定してください。
普通紙（リサイクル）、レターヘッドの最小値は 92.0 × 198.0 mm、厚紙、光沢紙、OHP フィルム、封筒、官製ハガキ、ラベル用紙の最大値は 216.0 × 297.0 mm となります。

用紙種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

本プリンタで利用できる用紙の種類は printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

普通紙（再生紙）

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙の厚さにより変わります。）
	トレイ 2（オプション）	500 枚（用紙の厚さにより変わります。）
プリンタドライバでの用紙種類の設定	普通紙（リサイクル）	
坪量	60 ～ 90 g/m²	
両面印刷	「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。	

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンタ対応の普通紙（再生紙）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された紙など）
- カーボン紙
- 感熱紙、熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）
- 一度印刷に使用した用紙
  ・インクジェットプリンタで印刷された用紙
  ・モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
  ・熱転写プリンタで印刷された用紙
  ・他のプリンタやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
  湿度が 35% 〜 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 重なっている用紙
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	厚紙	
坪量	91 ～ 163 g/m^2	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

■ 給紙トレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

容量	**トレイ 1**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

■ 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

■ レーザープリンタ対応の封筒

■ 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒
■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒
■ 窓付きの封筒
■ 表面が粗い和紙などの封筒
■ 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒
■ すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

■ 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。
■ 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル用紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のラベル紙を使用してください。

■ レーザープリンタ用ラベル紙

以下のようなラベル紙は使用しないでください。

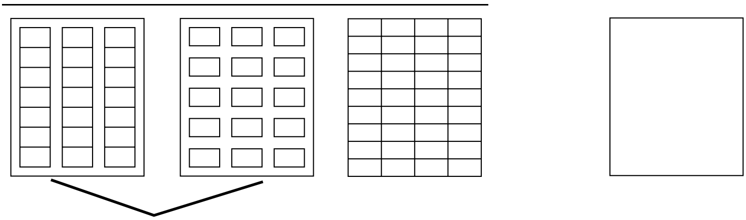
■ はがれやすいラベル紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル紙

使用禁止　　使用可



型抜きされて台紙面が露出しているラベル紙

断裁されていないページ全体のラベル紙

レターヘッド

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応しています。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	レターヘッド	
両面印刷	「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。	

はがき

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	官製ハガキ	
両面印刷	対応していません	

以下のはがきを使用してください。

■ 官製はがき（100 × 148 mm）
（市販のはがきには、使用できないものがあります。）

以下のようなはがきは使用しないでください。

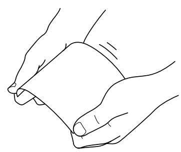
■ 光沢のあるもの

■ 曲がっているもの

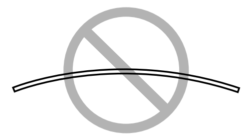
■ 切り込みやミシン目のあるはがき

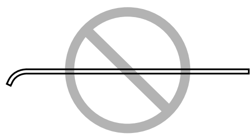
■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。



■ 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの





OHP フィルム

セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。静電気が発生し、印刷時のエラーの原因になります。

一度に多くの OHP フィルムをセットしないでください。また、OHP フィルムの表面を手で触わると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

通紙部は清潔に保ってください。OHP フィルムは通紙部の汚れの影響を大きく受けてしまいます。用紙の先端／後端に影がみられる場合は、「メンテナンス」（p.107）をごらんください。

静電気が起きないように、印刷後すぐに OHP フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

OHP フィルムも連続印刷することができますが、用紙の質、静電気の発生、印刷環境によって、うまく給紙できない場合があります。一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の用紙をセットしてください。

一度に多くの OHP フィルムをセットすると、静電気が発生し、給紙トラブルの原因になります。

お使いのアプリケーションにしたがって OHP フィルム用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	OHP フィルム	
両面印刷	対応していません	

以下の OHP フィルムを使用してください。

- レーザープリンタ用 OHP フィルム

以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

- 静電気が発生し、互いにくっつくもの
- インクジェットプリンタ用のもの

光沢紙

あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
プリンタドライバでの用紙種類の設定	光沢紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

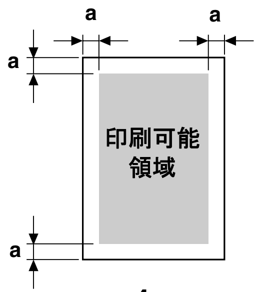
- 給紙トレイの中で光沢紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

印刷可能領域

印刷保証範囲と印刷可能範囲は？

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。



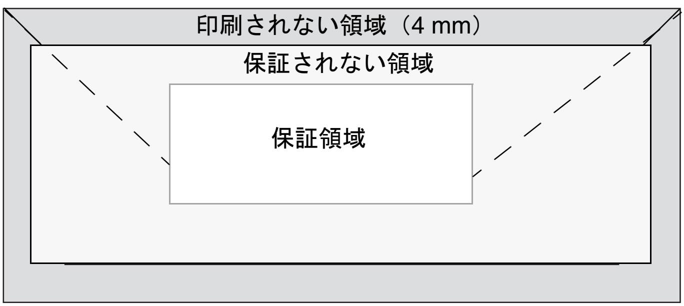
リーガルサイズの用紙にカラー印刷する場合は、用紙の後端の余白が 17 mm になります。

光沢紙に印刷する場合は、用紙の先端の余白が 10 mm になります。

封筒の印刷保証領域

封筒では、封の部分は印刷保証外です。また、印刷保証外領域は封筒の種類によって異なります。

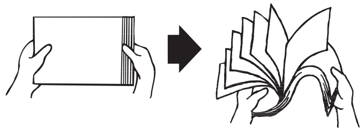
封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。



用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 200 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。





OHP フィルムはさばかないでください。

ご注意

本プリンタは、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムなど）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりプリンタの寿命が短くなる場合があります。

用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

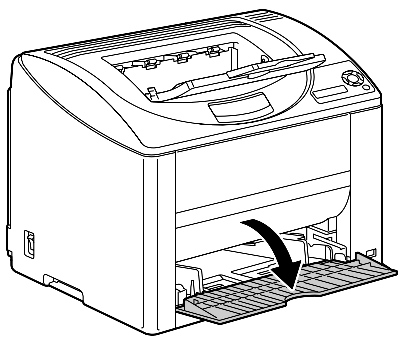
種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

トレイ 1（多目的トレイ）

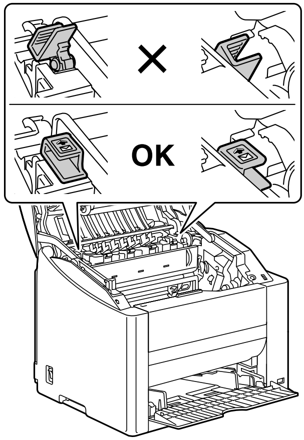
トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。

普通紙の場合

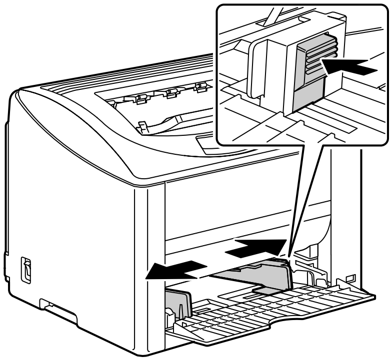
1 トレイ 1 を開きます。



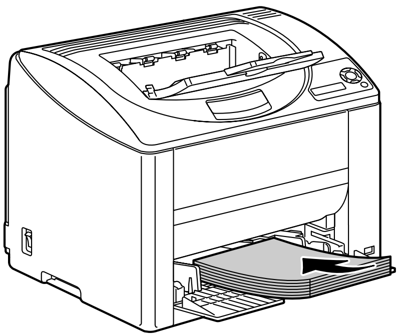
左右の定着離間レバーが起き上がった状態（封筒印刷位置）になっていないことを確認します。



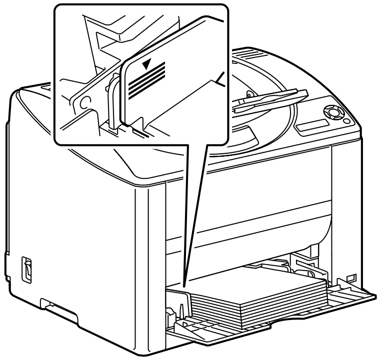
2 用紙ガイドを広げます。



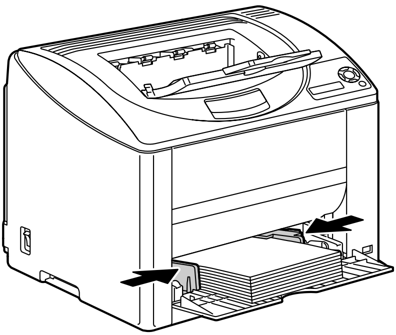
3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。



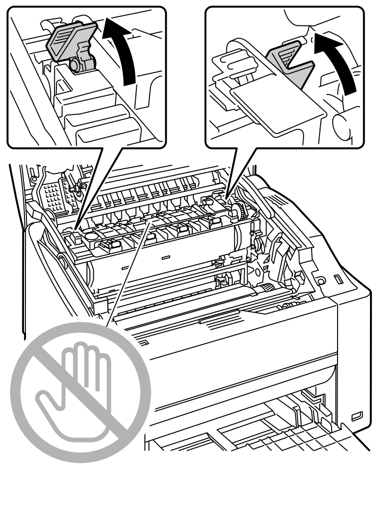
用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 200 枚（80 g/m²）までセットできます。



4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



本プリンタを長期使用しない場合は、左右の定着離間レバーを起こした状態（封筒印刷位置）で保管してください。

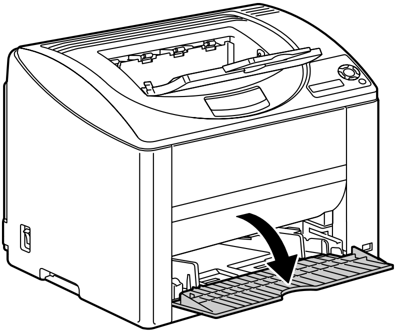


その他の用紙種類の補給

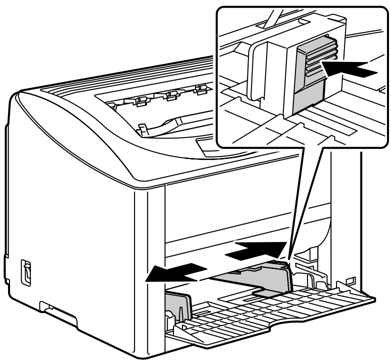
普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙、封筒、OHP フィルムなど）

封筒の場合

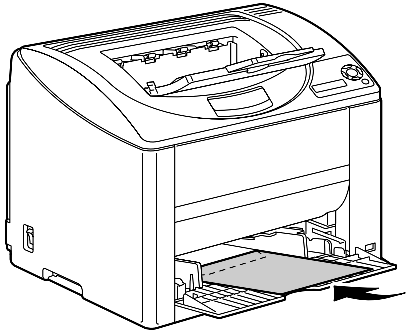
1 トレイ 1 を開きます。



2 用紙ガイドを広げます。

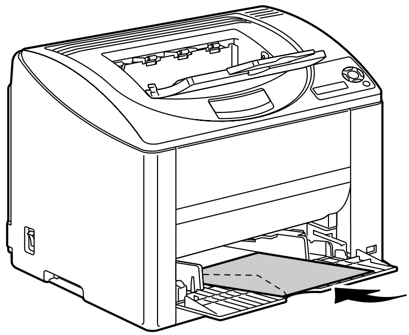


3 フタを下側にして封筒をセットします。



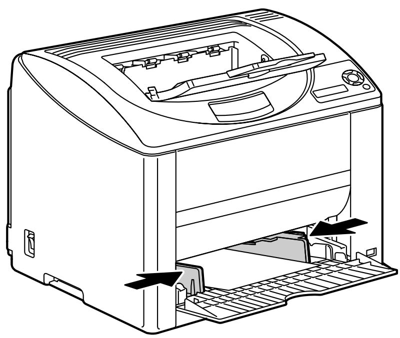
セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

封筒は一度に 10 枚までセットできます。



フタが封筒の長辺にある場合はフタを左側にしてセットしてください。

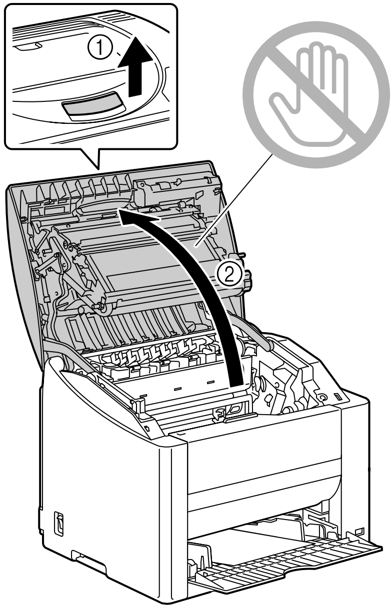
4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



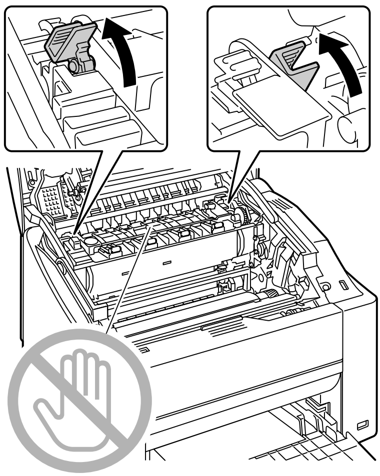
5 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。



6 左右の定着離間レバーを起こします（封筒印刷位置にセットします）。

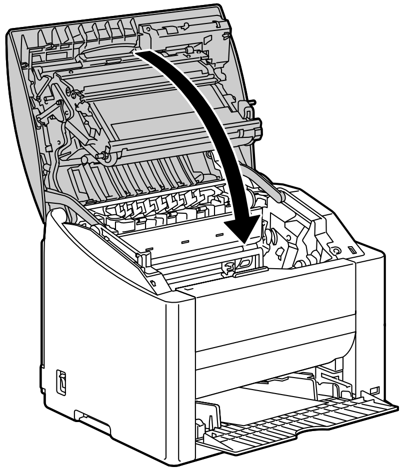


注意

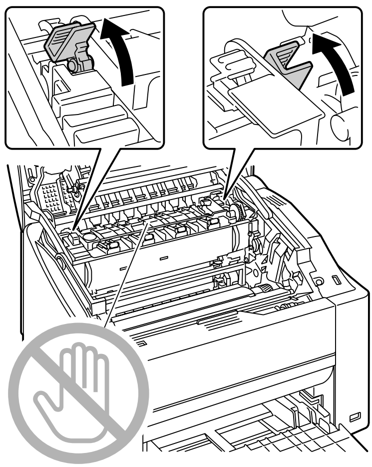
定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

7 トップカバーを静かに閉じます。

封筒以外の用紙に印刷する場合は、左右の定着離間レバーを必ず戻してから印刷してください。

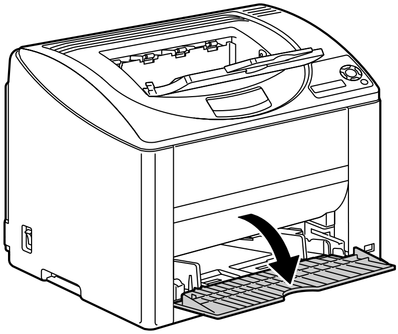


本プリンタを長期使用しない場合は、左右の定着離間レバーを起こした状態（封筒印刷位置）で保管してください。

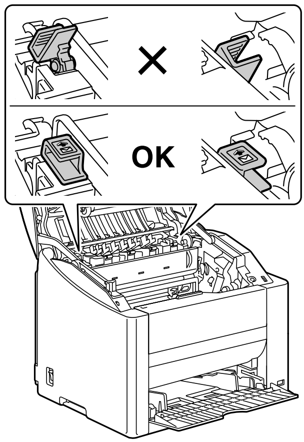


ラベル紙／はがき／厚紙／ OHP フィルム／光沢紙の場合

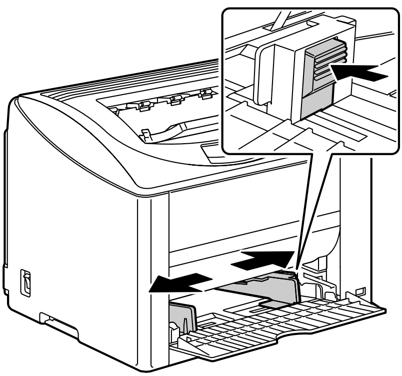
1 トレイ 1 を開きます。



左右の定着離間レバーが起き上がった状態（封筒印刷位置）になっていないことを確認します。

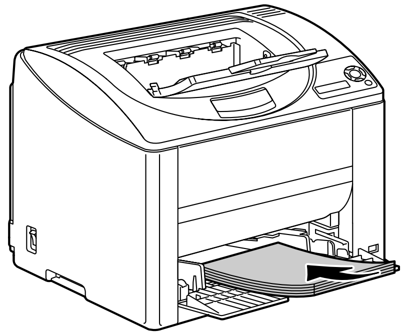


2 用紙ガイドを広げます。

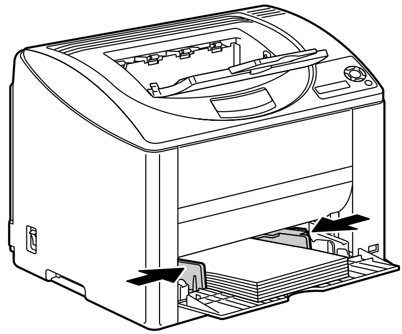


3 印刷面を上向きにして用紙をセットします。

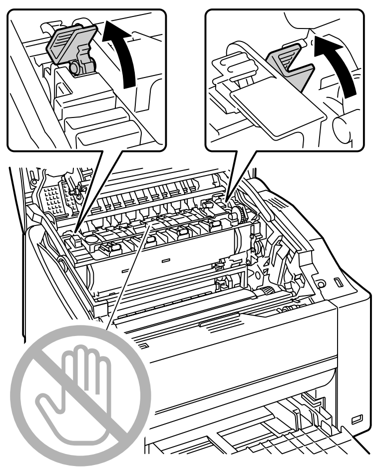
用紙は一度に 50 枚までセットできます。



4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。



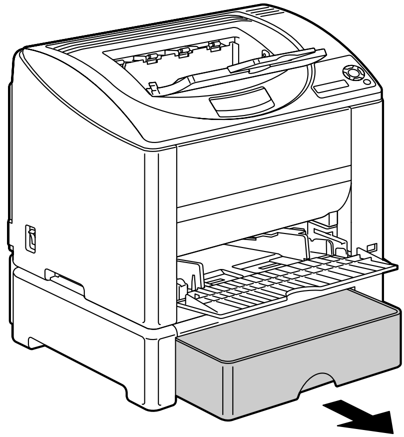
本プリンタを長期使用しない場合は、左右の定着離間レバーを起こした状態（封筒印刷位置）で保管してください。



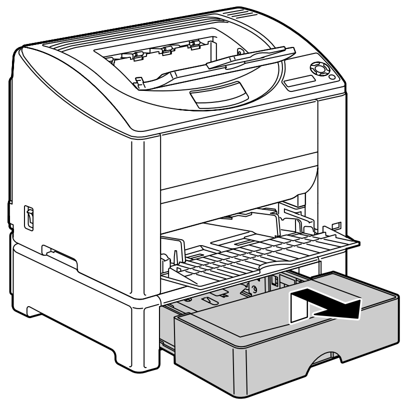
トレイ 2（オプションの給紙ユニット）

普通紙の場合

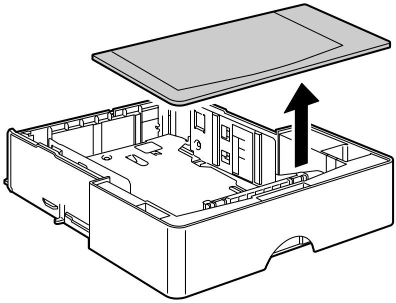
1 トレイ 2 を止まる位置まで引き出します。



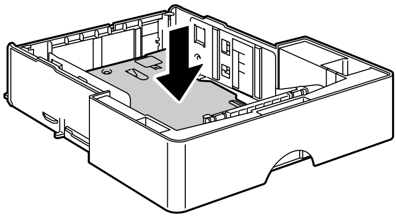
2 上に持ち上げながらトレイ 2 を引き抜きます。



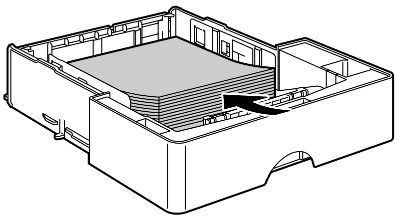
3 トレイ２のふたを取り外します。



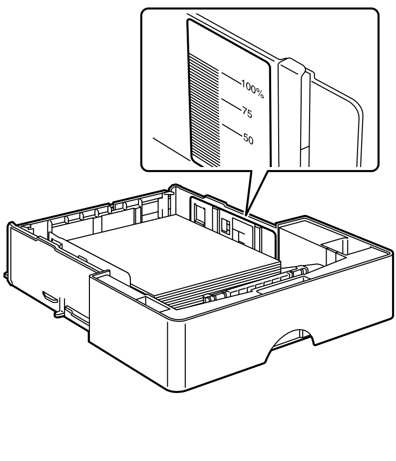
4 押し上げ板をロックするまで押し下げます。



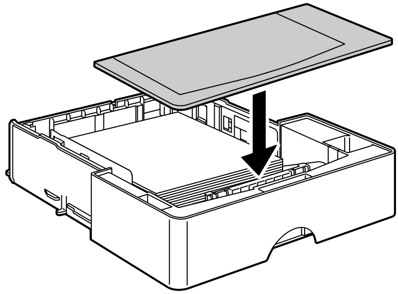
5 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。



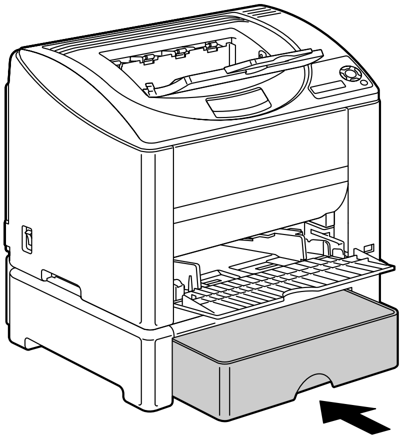
用紙は上限を示す線を超えないようにセットしてください。
普通紙は１度に 500 枚（80 g/m^2）までセットできます。



6 トレイ２のふたを取り付けます。



7 トレイ２をプリンタに戻します。



両面印刷

両面印刷には両面プリントユニット（オプション）が必要です。取り付け方法は「両面プリントユニット の取り付け」（p.162）をごらんください。
両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。あらかじめ試し印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

複雑で画像の多いページを、高い解像度（2400 × 600 dpi）で両面フルカラー印刷する場合や、プリンタドライバの「基本設定」タブにある「トランスミットワンス」を使用して印刷する場合に増設メモリが必要になります。

ご注意

自動両面印刷は、60 ～ 90 g/m² の普通紙にのみ対応しています。
「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。

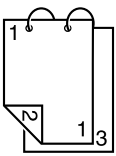
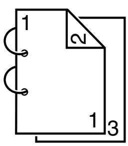
90 g/m² 以上の厚紙、封筒、ラベル紙、官製はがき、光沢紙、および OHP フィルムでは、両面印刷できません。

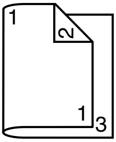
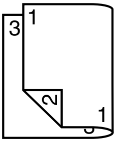
自動両面印刷の方法は？

両面プリントユニットがプリンタに装着されている状態で、両面印刷を行います。両面プリントユニットがプリンタに装着されていない状態で、両面印刷を行うと、操作パネルのメッセージウィンドウに「ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ」と表示されます。

お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

両面印刷の設定には以下の種類があります。

	短辺綴じに設定すると、縦にめくるレイアウトになります。
	長辺綴じに設定すると、横にめくるレイアウトになります。

	小冊子左綴じに設定すると、左開きの本のようにレイアウトされます。
	小冊子右綴じに設定すると、右開きの本のようにレイアウトされます。

1 トレイに普通紙をセットします。

2 プリンタドライバで、両面印刷のレイアウトを設定します。

3 ［OK］をクリックします。

自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

排紙トレイ

どの用紙もプリンタ上部の排紙トレイに印刷面を下向きにして排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で 200 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

OHP フィルムの場合は、印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。

用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
  包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
  - 湿気が多い場所
  - 直射日光があたる場所
  - 高温の場所（35°C 以上の場所）
  - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

7 消耗品の交換

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されいる手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本プリンタではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンタや手などにこぼれないように注意してください。

トナーは有害なものではありません。トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

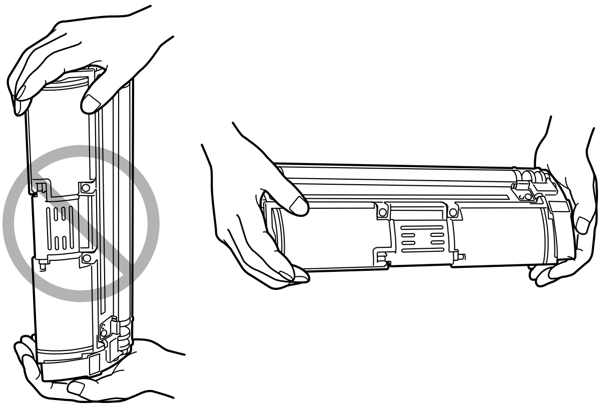
トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。プリンタタイプ（TYPE）とトナーカートリッジ製品番号はトップカバーを開け、プリンタ内部にあるラベルでご確認ください。

プリンタタイプ（TYPE）	**トナーカートリッジタイプ**	**トナーカートリッジ製品番号**
JP	トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710588-001
	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710588-002
	トナーカートリッジ - シアン（C）	1710588-003
	大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	1710588-004
	大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	1710588-005
	大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	1710588-006
	大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	1710588-007

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

ご注意

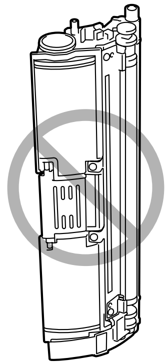
トナーカートリッジを立てて持たないでください。



トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下､湿度 80% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。

- 水平な状態で保管してください。
  トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。



- 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

トナーカートリッジの交換手順

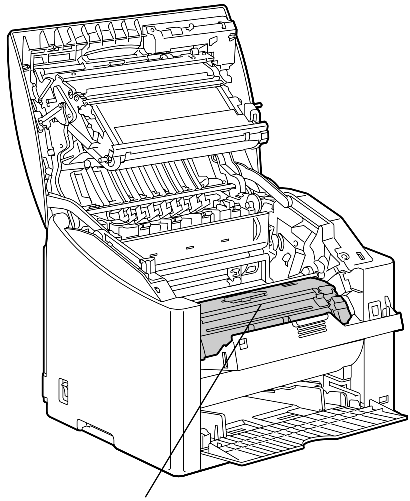
ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

トナーがなくなると、「X ﾄﾅｰｶﾞ ﾗｲﾌｦｺｴﾃｲﾏｽ」（X はトナーの色を表します）のメッセージが表示されます。以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。

「ｴﾝｼﾞﾝ」/「ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ」メニューで「ｺﾝﾃｨﾆｭｰ」にセットされている場合、「X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」のメッセージが表示された後でも印刷を続行できます。印刷を続け、トナーが完全になくなると、「X ﾄﾅｰｶﾞ ﾗｲﾌｦｺｴﾃｲﾏｽ」と表示されます。

トナーカートリッジは右図の位置にあります。



1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーの色を確認し、手順 2 へ進みます。

「ｴﾝｼﾞﾝ」/「ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ」メニューを「ｽﾄｯﾌﾟ（工場出荷時の状態）」に設定している場合、トナーがなくなると、印刷が止まり、トナーカートリッジは自動的に交換位置へ移動します。

強制的にトナーカートリッジを交換したい場合は、下の表の作業を行うことで、トナーカートリッジラックが自動的に回転し、指定した色のトナーカートリッジが交換位置へと移動します。

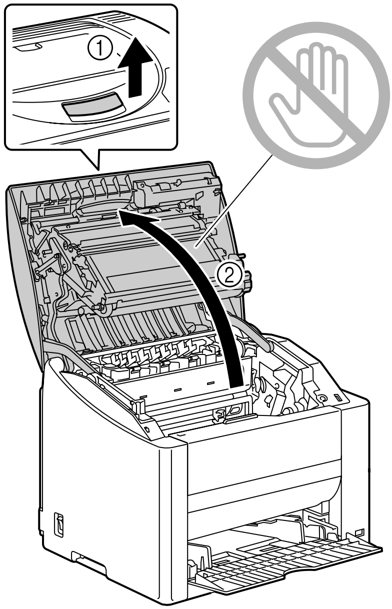
押すキー	ディスプレイ
★ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ
► × 2	ﾒﾆｭｰ ｴﾝｼﾞﾝ
★ メニュー 選択 ↵	ｴﾝｼﾞﾝ ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ

押すキー	ディスプレイ
▼	ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ﾌﾞﾗｯｸﾄﾅｰ
交換するトナーカートリッジが表示されるまで ▶ を押します。	ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ X
★ メニュー 選択 ↵	ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
	しばらくすると「ﾄﾞｱｦｱｹﾃ ﾄﾅｰｦｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。

2 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。

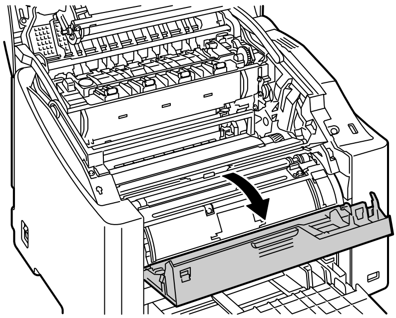
排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。



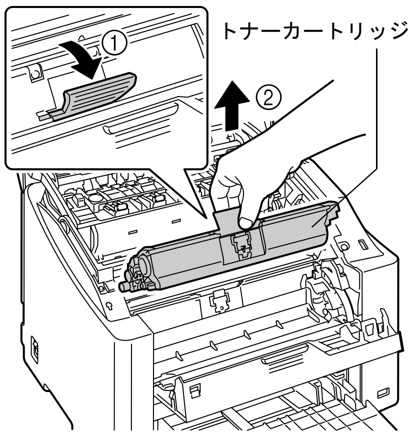
3 交換する色のトナーカートリッジが手前に来ているのを確認し、前ドアを開きます。

トナーカートリッジの色はトナーカートリッジのつまみで確認できます。



4 トナーカートリッジのつまみを手前に倒し（①）、そのまま上に持ち上げてトナーカートリッジを取り外します（②）。

トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。



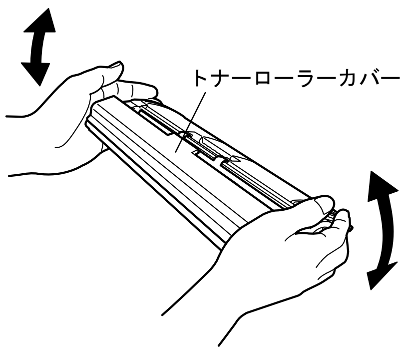
ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

5 新しいトナーカートリッジを用意します。

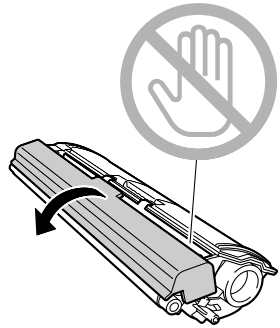
6 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

トナーローラーカバーが装着されていることを確認してから振ってください。



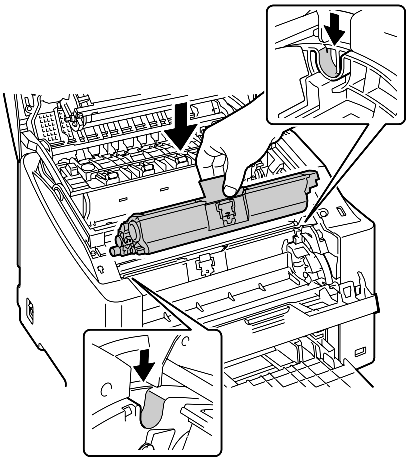
7 トナーローラーカバーを取り外します。

> トナーローラーには触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。

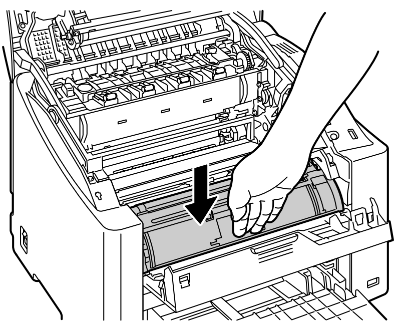


8 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。

> トナーカートリッジラックのラベルと、取り付けるトナーカートリッジの色が同じであることを確認してからトナーカートリッジを取り付けてください。

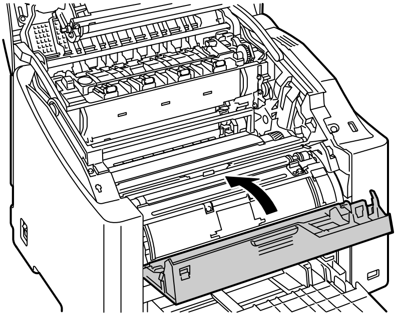


9 トナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。



10 前ドアを閉じます。

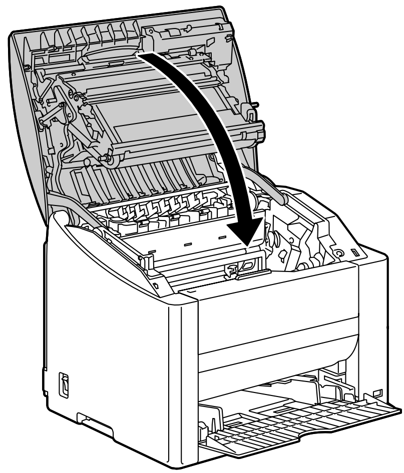
トップカバーを閉じる前に必ず前ドアを閉じてください。トップカバーを閉じたあとでは、前ドアは閉まりません。



11 トップカバーを静かに閉じます。

他にもトナーのなくなったトナーカートリッジがある場合、そのトナーカートリッジは交換位置へ自動的に移動します。手順 2 から操作を繰り返してください。

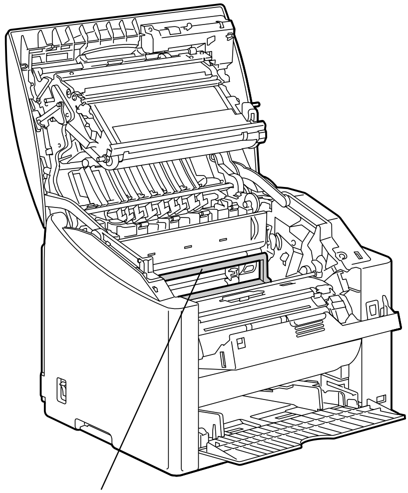
トナーカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーション（2 分未満）を行います。操作パネルのメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ」が表示される前にカバーを開けると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。



ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジが寿命に達すると「ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが表示されます。以下の手順にしたがってドラムカートリッジを交換してください。

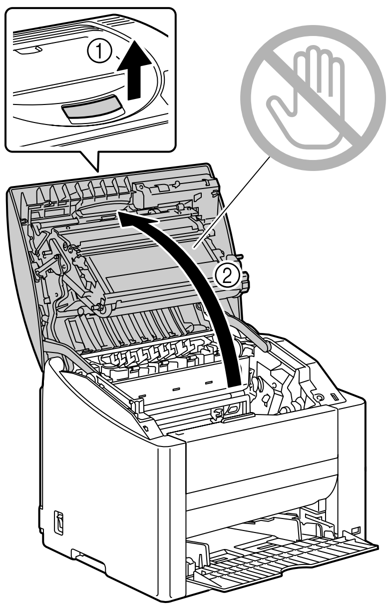
ドラムカートリッジは右図の位置にあります。



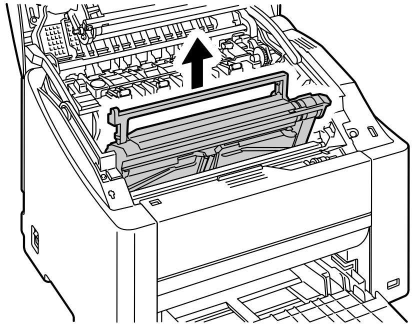
1 レバーを引き（①)、トップカバーを開きます（②)。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。



2 緑色の取っ手をつかみ、ゆっくりとドラムカートリッジを引き抜きます。

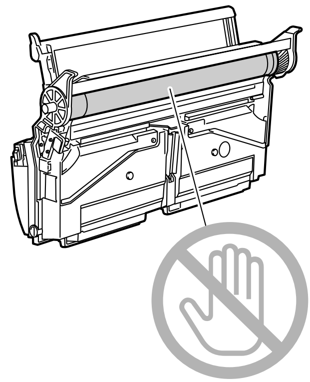


ご注意

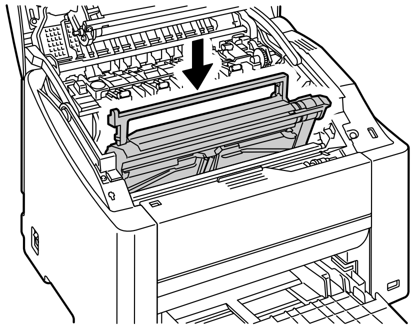
使用済みドラムカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

3 新しいドラムカートリッジを用意します。

ドラムカートリッジの感光体には触れないように注意してください。

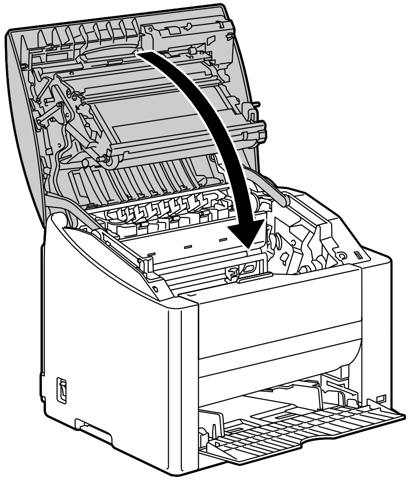


4 新しいドラムカートリッジを取り付けます。



5 トップカバーを静かに閉じます。

ドラムカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーション（2 分未満）を行います。操作パネルのメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ」が表示される前にカバーを開けると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。



8 メンテナンス

プリンタのメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルはプリンタのドア内部やプリンタ本体の内部にあります。

プリンタを長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片がプリンタ内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的にプリンタの清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

警告

清掃前には、プリンタの電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
プリンタ内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。プリンタの損傷や感電のおそれがあります。

注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1 時間お待ちください）。

- プリンタ内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- プリンタの清掃には柔らかい布を使用してください。
- プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- プリンタの清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、プリンタの目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- プリンタの清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- プリンタのカバーはゆっくり閉めて下さい。プリンタに振動を与えないようにしてください。

■ プリンタを使用後すぐにカバーや布などをかけないでください。電源を切り、プリンタの温度が下がるまで待ってください。

■ トップカバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってドラムカートリッジが損傷を受ける場合があります。

■ 印刷中はプリンタのトップカバーや前ドアを開けないでください。

■ 用紙をプリンタの上部にあててそろえないでください。

■ プリンタに油をさしたり、分解しないでください。

■ プリンタを傾けないでください。

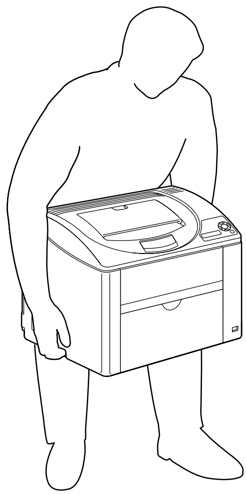
■ 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。プリンタの故障や印刷品質の低下の原因になります。

■ 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。

■ プリンタを移動するときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

■ プリンタを持ち上げるときは、右の図に示す位置を持ってください。

両面プリントユニットを装着している場合は、両面プリンユニットを取り外してからプリンタを持ち上げてください。また給紙ユニットといっしょにプリンタを持ち上げないでください。



■ トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

■ プリンタの電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

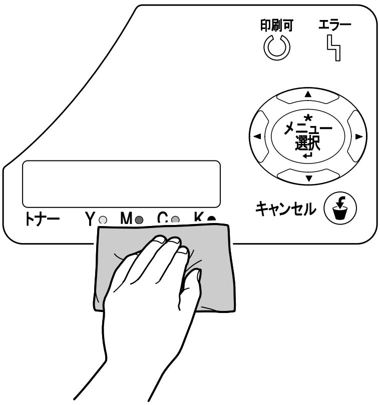
プリンタの清掃

注意

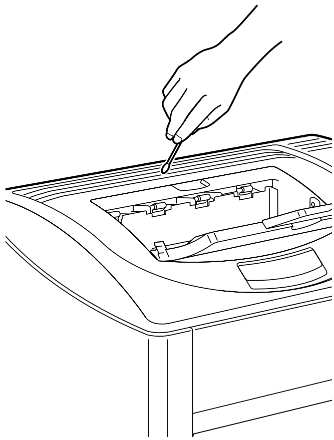
清掃前にはプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してください。

プリンタ外側の清掃

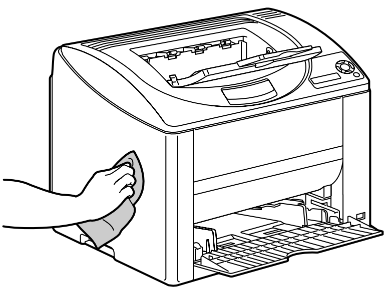
操作パネル



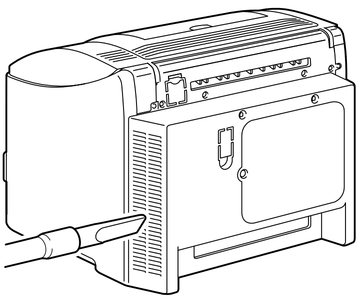
排気ダクト



プリンタの外側



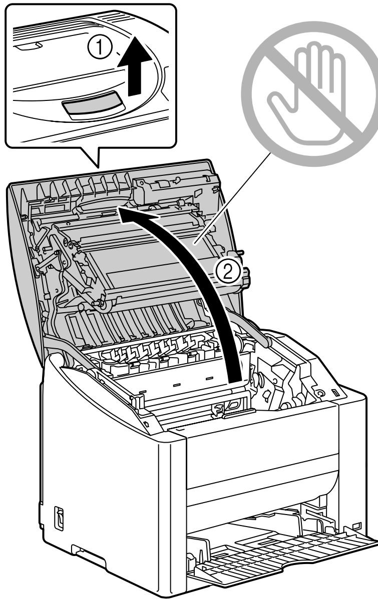
フィルタ



プリンタ内部の清掃

給紙ローラーとレーザーレンズの清掃

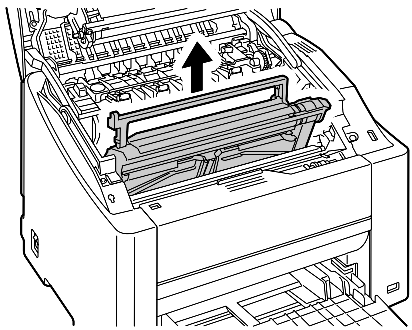
1 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。



排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

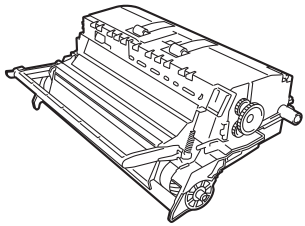
転写ベルトには触れないように注意してください。

2 緑色の取っ手をつかみ、ゆっくりとドラムカートリッジを引き抜きます。

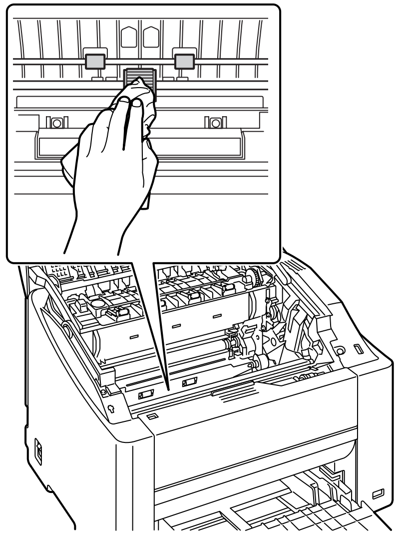


ご注意

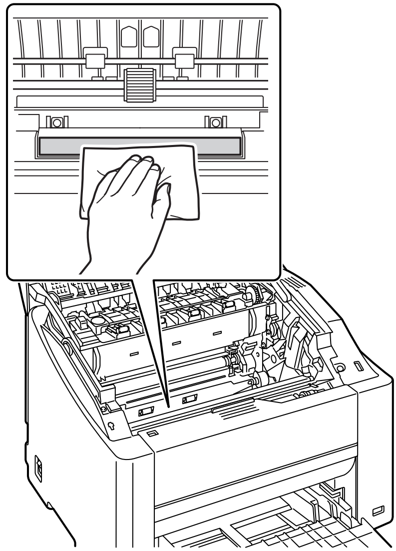
取り外したドラムカートリッジは右図の向きで置いてください。
ドラムカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したドラムカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。



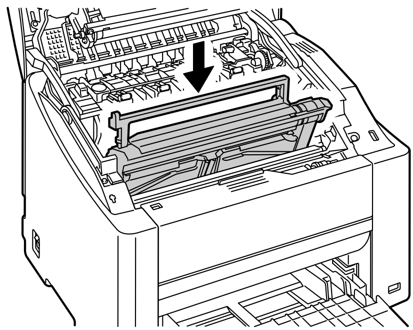
3 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。



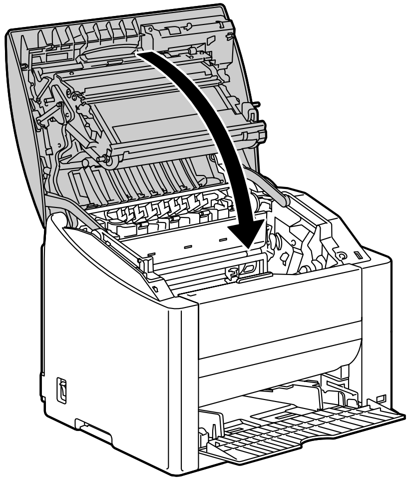
4 やわらかい乾いた布でレーザーレンズの汚れを拭き取ります。



5 ドラムカートリッジを取り付けます。

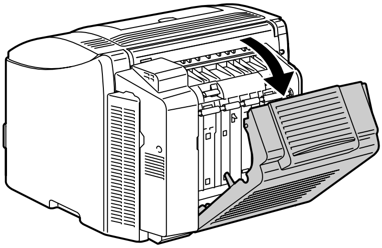


6 トップカバーを静かに閉じます。

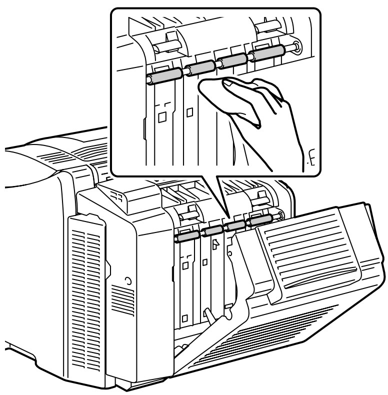


両面プリントユニットの搬送ローラー

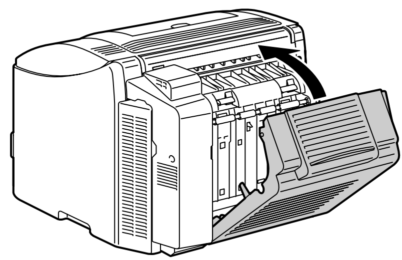
1 オプションの両面プリントユニットのカバーを開きます。



2 搬送ローラーを柔らかい乾いた布で拭きます。

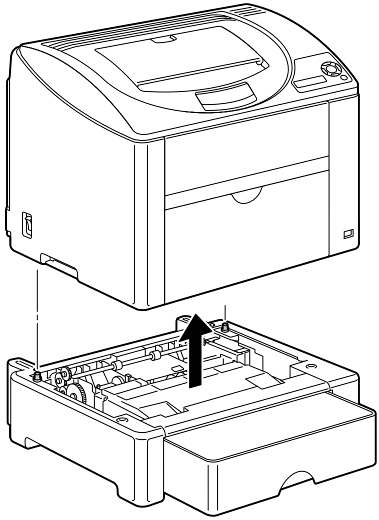


3 オプションの両面プリントユニットのカバーを閉じます。

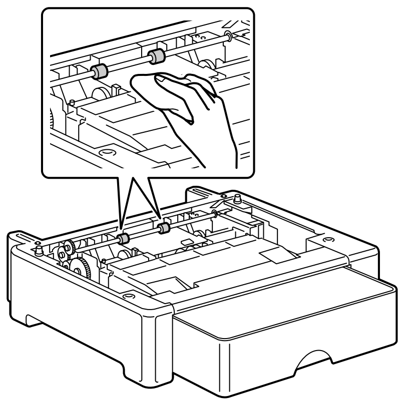


トレイ 2 の給紙ローラーの清掃

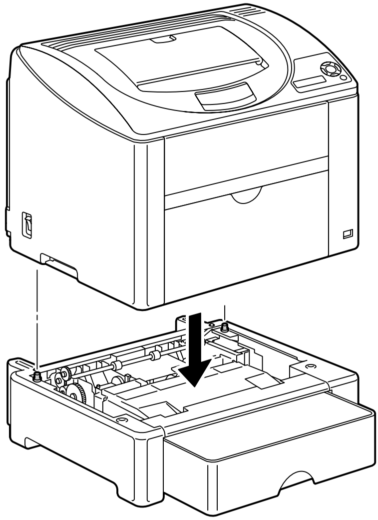
1 プリンタを持ち上げ、給紙ユニットから取り外します。



2 やわらかい乾いた布で搬送ローラーの汚れを拭き取ります。



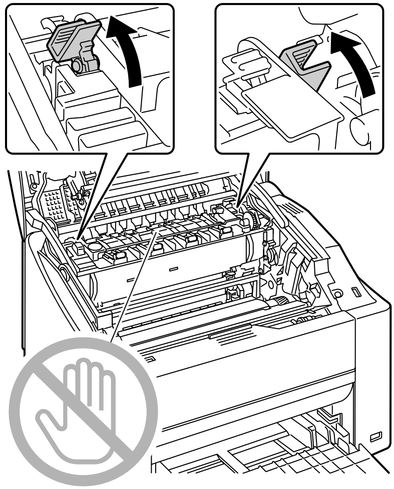
3 プリンタを持ち、給紙ユニットの位置決めピンをプリンタの底の受け穴にあわせて正しくセットします。



プリンタの保管

ご注意

本プリンタを長期間使用しない場合は、左右の定着離間レバーを起した状態（封筒側）で保管してください。



トラブル
シューティング

9

はじめに

この章では、プリンタ使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

トウケイデータページ（Configuration Page）を印刷する

トウケイデータページを印刷し、プリンタが正しく印刷動作をしているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ
	ﾚﾃﾞｨ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ｽﾍﾟｼｬﾙﾍﾟｰｼﾞ
＊ メニュー 選択 ↵	ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ
＊ メニュー 選択 ↵	トウケイデータページが印刷され「ﾚﾃﾞｨ」の画面に戻ります。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙はプリンタの仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
プリンタは表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
静電気の発生を防ぐために、OHP フィルムに印刷したら、すぐに排紙トレイから取り除いていますか？
トレイ 1 に用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、プリンタの破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
OHP フィルムはさばかないでください。（OHP フィルムをさばくと、静電気が発生し、OHP フィルムどうしがくっついてしまいます。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 200 枚まで排紙できます。200 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）
排紙トレイに OHP フィルムを大量に排紙しないでください。

用紙送りの流れ

プリンタ用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1　排紙トレイ

2　転写ベルト

3　トナーカートリッジラック

4　ドラムカートリッジ

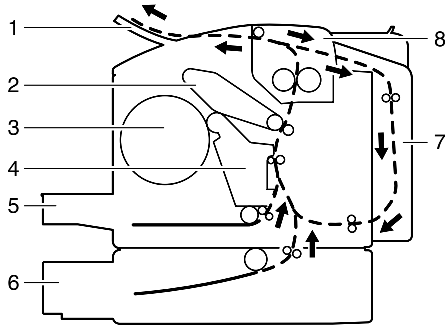
5　トレイ 1

6　トレイ 2（オプション）

7　両面プリントユニット（オプション）

8　定着ユニット

プリンタ内部断面図



紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片がプリンタ内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンタ内部にトナーをこぼさないでください。

注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、プリンタのトップカバーの開閉を行ってください。

紙づまり表示と処理について

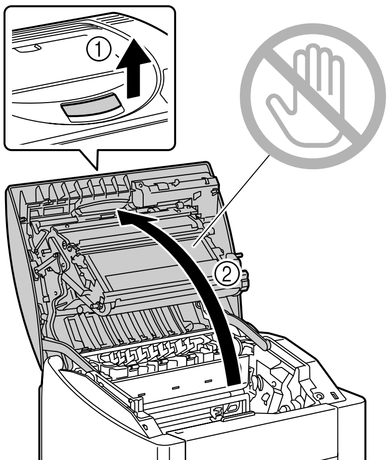
紙づまりメッセージ	参照ページ
ﾄﾚｲ１ﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 124
ﾃｲﾁｬｸｴﾘｱﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 124
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 124
ﾄﾚｲ２ﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 129
ﾘｮｳﾒﾝｹﾞﾀﾞﾝﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 132
ﾘｮｳﾒﾝｼﾞｮｳﾀﾞﾝﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	p. 132

プリンタ内部での紙づまり処理

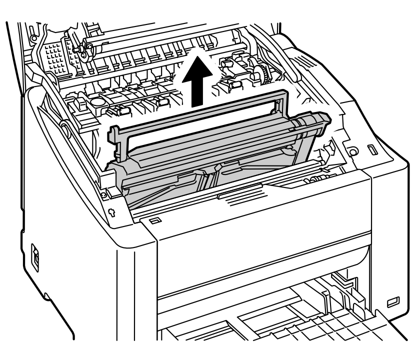
1 レバーを引き（①）、トップカバーを開きます（②）。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでからトップカバーを開けてください。

転写ベルトには触れないように注意してください。

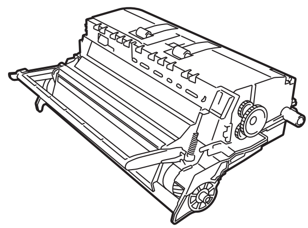


2 緑色の取っ手をつかみ、ゆっくりとドラムカートリッジを引き抜きます。

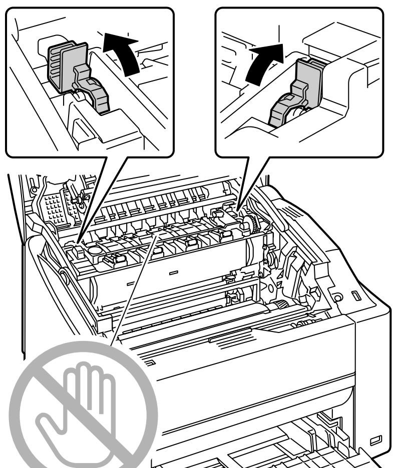


ご注意

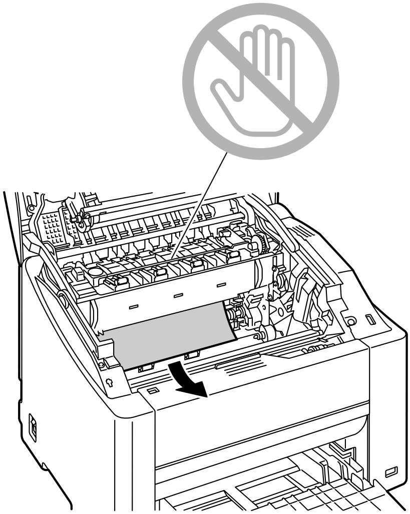
取り外したドラムカートリッジは右図の向きで置いてください。
ドラムカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したドラムカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。



3 左右の定着離間レバーをできるだけ押し上げます。



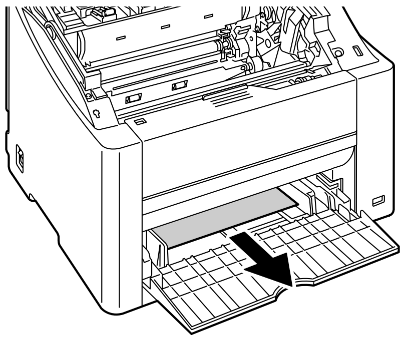
4 つまっている用紙を取り除きます。



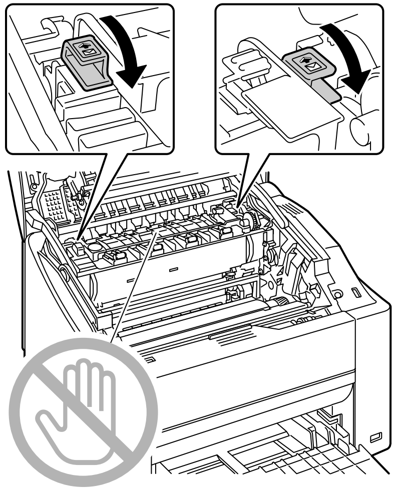
注意

定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

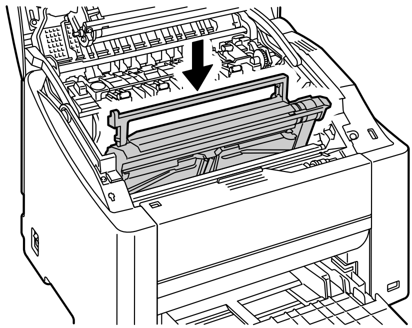




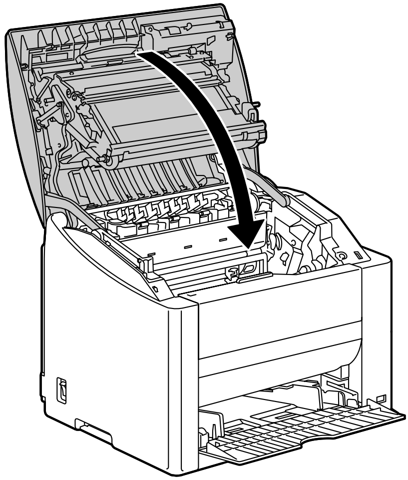
5 左右の定着離間レバーを通常印刷位置に戻します。



6 ドラムカートリッジを取り付けます。

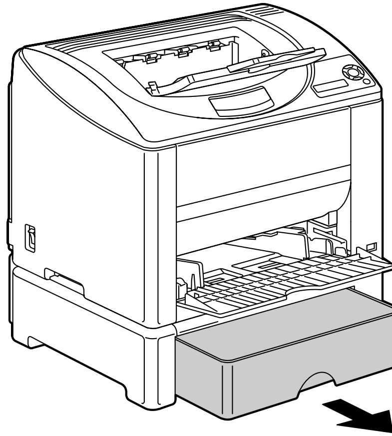


7 トップカバーを静かに閉じます。

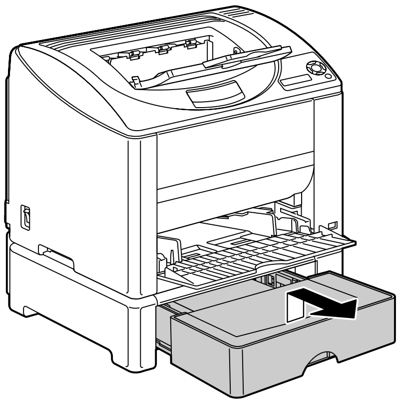


トレイ 2（オプションの給紙ユニット）での紙づまり処理

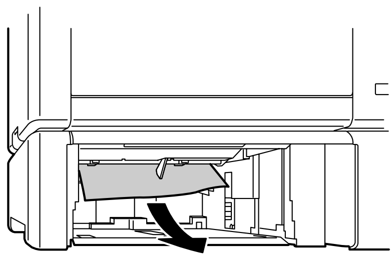
1 トレイ 2 を止まる位置まで引き出します。



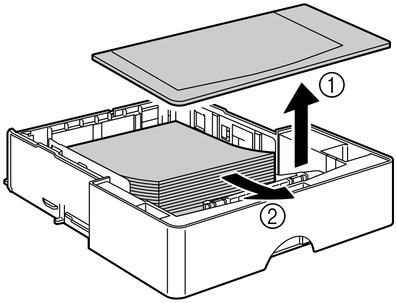
2 上に持ち上げながらトレイ 2 を引き抜きます。



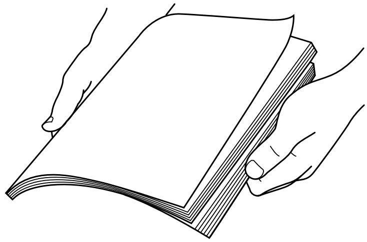
3 つまっている用紙を取り除きます。



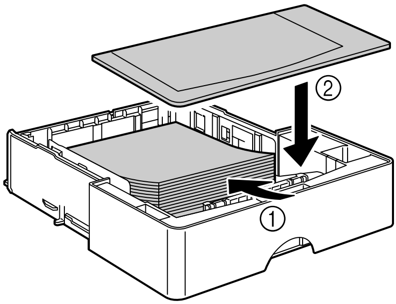
4 トレイ２のふたを取り外し、用紙を取り出します。



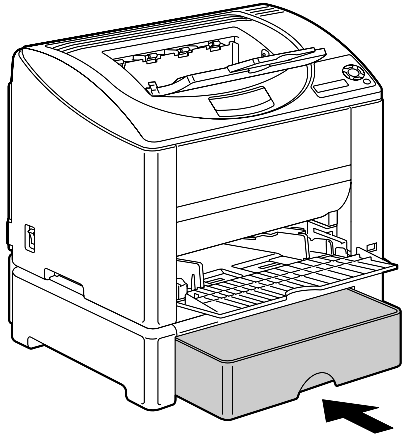
5 用紙をさばき、端を揃えます。



6 トレイ２に用紙をセットし、ふたを取り付けます。

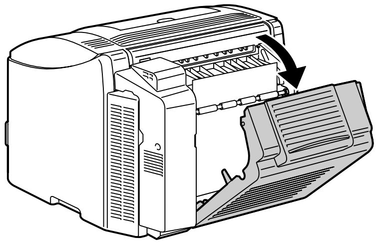


7 トレイ 2 を戻します。

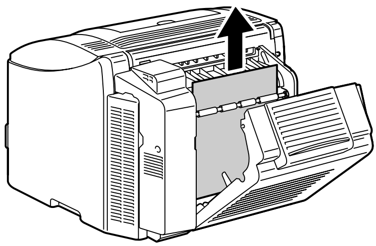


両面プリントユニットでの紙づまり処理

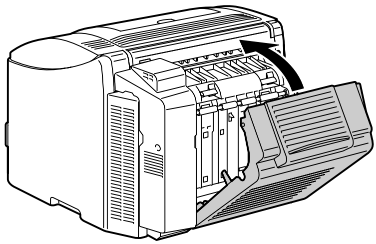
1 両面プリントユニットのカバーを開きます。



2 つまっている用紙をゆっくりと引出します。



3 両面プリントユニットのカバーを閉じます。



紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	給紙トレイ内で用紙がくっついている	OHP フィルム以外の用紙は、よくさばいてからセットしなおしてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	静電気が起きている。	セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
紙づまりのメッセージが消えない	プリンタをリセットする必要がある。	トップカバーを開閉してリセットしてください。
	プリンタ内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。
		オプションの両面プリントユニット装着時に、普通紙、再生紙、レターヘッド、はがき、厚紙のみ両面印刷ができます。プリンタドライバで両面プリントユニットをインストール済みオプションに設定し、用紙種類を正しく設定してください。 両面印刷に対応している用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		封筒やラベル紙、OHP フィルムを両面印刷に使用しないでください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大セット枚数を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	オプションの給紙トレイに不定形紙、厚紙、ラベル紙、封筒、官製はがき、OHP フィルムがセットされている。	普通紙以外の用紙はトレイ 1 にセットしてください。
	OHP フィルムまたはラベル紙が、逆向きにセットされている。	OHP フィルムやラベル紙の向きを正しい向きにセットしてください。
	封筒が正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを下側にしてセットしてください。
		フタが封筒の長辺にある場合は、フタを左側にしてセットしてください。
	OHP フィルムがトレイ内で静電気を起こしている。	OHP フィルムを取り除き、一度に 1 枚ずつトレイ 1（多目的トレイ）にセットします。セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「プリンタ内部の清掃」（p.111）をごらんください。

その他の問題

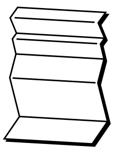
症状	原因	処置のしかた
印刷指示をしても何も印刷されない。	コンピュータの USB ポートを変更した。	PC の USB ポートの差し口を別の差し口に変更した場合は、元の差し口に接続してください。元の差し口に接続しない場合は、インストール済みのプリンタドライバを一旦削除し、プリンタドライバの再インストールを行ってください。 プリンタドライバのアンインストール、インストール手順については、本書および「magicolor 2530 DL インストレーションガイド」を参照してください。
プリンタの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンタの仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.168）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。

症状	原因	処置のしかた
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに「x ﾄﾅｰﾛｰ」が表示される	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」（p.168）をごらんください。
トウケイデータページが印刷されない	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	紙づまりがおきている。	つまっている用紙を取り除いてください。
デジタルカメラからの印刷ができない	デジタルカメラの転送モードが PictBridge に設定されていない。 PictBridge に対応したデジタルカメラのみサポートします。	デジタルカメラの転送モードを PictBridge に設定してください。

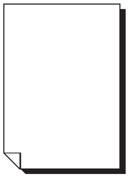
症状	原因	処置のしかた
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙や OHP フィルム）に設定されている。	OHP フィルムなどの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	プリンタが節電モードになっている。	プリンタが節電モードの状態では、印刷するまでに少し時間がかかります。お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	プリンタのメモリが十分でない。	メモリを増設してください。
	純正ではないトナーカートリッジがセットされています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを取り付けてください。
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで用紙の種類が、プリンタにセットされている用紙と合っているか確認してください。
操作パネルのメニューで設定変更が終わらないうちに「ﾚﾃﾞｨ」画面に戻ってしまう	メニュー画面で設定変更中に 2 分間何も選択されていない。	メニュー画面では、2 分経つ前にメニュー・項目を選択してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷されないページがある	［キャンセル］キーが押された。	ジョブの印刷中に、［キャンセル］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	フォームを設定して印刷しようとしたときに、magicolor 2530 DL 以外のプリンタドライバで作成されたフォームファイルが選択されている。	フォームを設定する場合は、magicolor 2530 DL のプリンタドライバで書き出したフォームファイルを使用してください。
頻繁にプリンタがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	両面プリントユニットが装着されているか確認してください。
		両面印刷では普通紙を使用してください。厚紙、封筒、ラベル紙、はがき、OHP フィルム、光沢紙では両面印刷しないでください。 トレイ 1 に異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		プリンタドライバの「デバイスオプション設定」タブで両面プリントユニットが「インストール済み」に設定されているか確認してください。

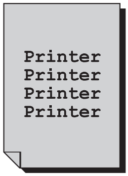
症状	原因	処置のしかた
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバの「レイアウト」タブの「印刷面」で「短辺綴じ」（メモ帳のように縦にめくる）または「長辺綴じ」（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		N-up 設定で両面印刷を行う場合、「ソート」の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「ソート」の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、「ソート」の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
小冊子（袋とじ）印刷時に、左とじ／右とじの設定通りに印刷されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「ソート」の設定がされている。	小冊子（左とじ／右とじ）印刷を行う場合、「ソート」の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
異常音がする	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	プリンタ内に異物がある。	プリンタの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

症状	原因	処置のしかた
Web ベースのユーティリティでプリンタにアクセスできない	PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）が正しくない。	6 ～ 16 文字のアドミンパスワード（管理者番号）を入力してください。アドミンパスワード（管理者番号）については管理者に確認してください。 PageScope Weg Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「magicolor 2530 DL リファレンスガイド」（CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
用紙にしわができる 	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。
	左右の定着離間レバーを倒した状態で封筒を印刷している。	封筒を印刷する場合は、左右の定着離間レバーを起してから印刷してください。

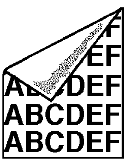
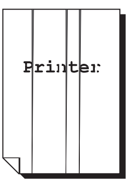
印刷品質の問題

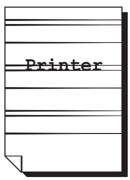
症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際にプリンタにセットされている用紙が合っていない。	プリンタに正しい用紙をセットしてください。
	電源がプリンタの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。OHP フィルム以外の用紙であれば、用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。

症状	原因	処置のしかた
まっ黒または一面カラーで印刷される 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
印刷が薄い 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
印刷が濃い 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
濃度が均一でない 	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。

症状	原因	処置のしかた
画像にムラがある、または一部分が欠ける 	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
	左右の定着離間レバーを起した状態で封筒以外の用紙を印刷している。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、左右の定着離間レバーを倒してから印刷してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう 	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる出力用紙サイズ」（p.68）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
	左右の定着離間レバーを起した状態で封筒以外の用紙を印刷している。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、左右の定着離間レバーを倒してから印刷してください。

症状	原因	処置のしかた
しみやカスの汚れがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	左右の定着離間レバーを起した状態で封筒以外の用紙を印刷している。	封筒以外の用紙を印刷する場合は、左右の定着離間レバーを倒してから印刷してください。
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく） 	給紙ローラー、搬送ローラーが汚れている。	給紙ローラー、搬送ローラーを清掃してください。
		給紙ローラー、搬送ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な線が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける 	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジが壊れている。	異常な現象が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
横方向に線や帯が現れる 	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であればドラムカートリッジを交換してください。
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている、または寿命に達している。	トナーカートリッジを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、トナーカートリッジをセットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	メッセージウィンドウに「X ﾄﾅｰﾛｰ」または「X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されていないか確認してください。メッセージが表示されている場合、指定されている色のトナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	ドラムカートリッジが正しく装着されていない。	ドラムカートリッジを取り出し、再度装着してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い 	ドラムカートリッジが壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「製品サポートとサービスのご案内」をごらんください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。プリンタの情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

通常のステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾚﾃﾞｨ	プリンタは印刷可能な状態です。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
ｼｮﾘﾁｭｳ	データ処理中です。	
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷処理中です。	
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	ウォームアップ中です。	
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝﾁｭｳ	プリンタは次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。 • 電源オンの起動時 • トナーカートリッジの交換後 この処理は、プリンタの印刷品質を最適に保つために行われます。	
ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ	節電機能がはたらいています。節電モードになり動作していない間は、消費電力が少なくなります。プリントジョブを受信すると、プリンタは 35 秒以内に通常の消費電力に戻ります。	
ｼﾞｮﾌﾞﾉｷｬﾝｾﾙﾁｭｳ	プリントジョブがキャンセルされています。	
ｶﾞｿﾞｳﾃﾝｶｲﾁｭｳ	デジタルカメラからの画像をレンダリングしています。	

エラーメッセージ（警告）

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾄﾚｲ X ﾖｳｼﾅｼ	トレイ X（トレイ 1 またはトレイ 2）がプリンタドライバの「給紙カセット」で指定されていますが、トレイに用紙がありません。	指定された給紙トレイに用紙をセットしてください。
X ﾄﾅｰﾛｰ	X（トナーの色を示します）トナーが残り少なくなっています。あと 200 ページ（A4 サイズで 5% の印字率の場合）印刷する前にトナーカートリッジを交換する必要があります。	指定されたトナーカートリッジを準備してください。
ﾄﾞﾗﾑﾛｰ	ドラムカートリッジがもうすぐ寿命です。	新しいドラムカートリッジを準備してください。
ｻｲｽﾞﾐｽﾏｯﾁ	ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ（エンジンメニュー）がｵﾝにセットされている時に表示されます。	正しいサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
（エラーランプのみ点灯時） X ﾄﾅｰｶﾞ ﾗｲﾌｦｺｴﾃｲﾏｽ	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました（印刷は停止）。（ｴﾝｼﾞﾝ/ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ/ｽﾄｯﾌﾟに設定されているときに表示されます。）	トナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ドラムカートリッジが寿命です。	ドラムカートリッジを交換してください。
ｼﾞｭﾝｾｲ X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	X トナーが純正ではありません。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジを取り付けてください。

エラーメッセージ（オペレーターコール）

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾄﾚｲ2ｦ ｶｸｼﾞﾂﾆｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トレイ 2 が給紙ユニットに取り付いていないか、正しく差し込まれていません。	給紙トレイを給紙ユニットに確実に差し込んでください。
ﾄﾚｲXﾆ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄ YYYY	プリンタドライバで設定されている用紙サイズとトレイにセットされているサイズが異なります。	正しいサイズの用紙を指定されたトレイにセットしてください。
ﾄﾚｲ1ﾆ ﾖｳｼｦ ｾｯﾄ YYYY	プリンタドライバで設定されている用紙種類とトレイ 1 にセットされている用紙の種類が異なります。	正しい種類の用紙をトレイ 1 にセットしてください。
ﾄﾚｲXﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	トレイ X の給紙部で紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ﾘｮｳﾒﾝｹﾞﾀﾞﾝﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	両面プリントユニットの搬送部（下段）で紙づまりが起きています。	
ﾘｮｳﾒﾝｼﾞｮｳﾀﾞﾝﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	両面プリントユニットの内部（上段）で紙づまりが起きています。	
ﾃｲﾁｬｸｴﾘｱﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	定着ユニットで紙づまりが起きています。	
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾃﾞ ｶﾐﾂﾞﾏﾘﾃﾞｽ	転写ローラーの辺りで紙づまりが起きています。この場合、用紙は排紙口まで進んでいません。	
ｻｲｽﾞ/ﾀｲﾌﾟ ｴﾗｰ	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	正しいサイズ、種類の用紙をセットしてください。
ｻｲｽﾞ/ﾀｲﾌﾟ ｴﾗｰ ﾘｮｳﾒﾝ	両面印刷に対応していない用紙がセットされています。	両面印刷に対応したサイズ、種類の用紙を使用してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	オプションの両面プリントユニット未装着の状態で、プリンタドライバの両面印刷が指定されました。	プリントジョブを中止し、プリンタドライバの設定を変更してください。必要に応じて、両面プリントユニットを取り付けてください。
ﾄﾚｲ 2 ｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	オプションの給紙ユニット未装着の状態で、プリンタドライバの「給紙カセット」に「トレイ 2」が指定されました。	プリントジョブを中止し、プリンタドライバの設定を変更してください。必要に応じて、給紙ユニットを取り付けてください。
（エラー、レディーランプ点滅時） X ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	X トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました（印刷は可能）。 （ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ / ｺﾝﾃｨﾆｭｰに設定されているときに表示されます。）	トナーカートリッジを交換してください。
X ﾄﾅｰｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	X トナーカートリッジが正しく取り付けられていないか、純正ではないトナーカートリッジが取り付けられています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを正しく取り付けてください。
X ﾄﾅｰｶﾞ ﾗｲﾌｦｺｴﾃｲﾏｽ	X トナーカートリッジの寿命です。 （ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ / ｺﾝﾃｨﾆｭｰに設定されているときに表示されます。）	トナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	ドラムカートリッジが取り付けられていません。	ドラムカートリッジを取り付けて下さい。
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	両面プリントユニットのカバーが開いています。	両面プリントユニットのカバーを閉じてください。
ﾌﾟﾘﾝﾀｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	トップカバーまたは前ドアが開いています。	トップカバーまたは前ドアを閉じてください。
ﾋﾞﾃﾞｵｱﾝﾀﾞｰﾗﾝ ｴﾗｰ	プリンタ内部の通信速度で処理できない量のデータを受信しました。	プリンタの電源を切り、数秒してから再度電源を入れます。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ ｴﾗｰ	プリンタは、メモリで処理できる量以上のデータを受信しました。	プリンタの電源を切り、数秒してから再度電源を入れます。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。 問題が解決しない場合は、オプションのメモリを増設してください。

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、プリンタを再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
AIDC ｾﾝｻｰ ｴﾗｰ	AIDC センサでエラーが検出されました。	エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
ﾌｪｲﾀﾙｴﾗｰ ｺｰﾄﾞ:XX	サービスメッセージ内に表示されている“XX”のエラーが検出されました。	
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ ｴﾗｰ	USB またはイーサネットインターフェースで通信エラーが検出されました。	インターフェースケーブルが正しく接続されているか確認してください。 状況が変わらない場合は、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
ｴﾝｼﾞﾝﾂｳｼﾌﾞ ｴﾗｰ	エンジン通紙部でエラーが検出されました。	エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
ｺﾝﾄﾛｰﾗ ｴﾗｰ	プリンタ内部で制御エラーが検出されました。	

10 オプションの取り付け

はじめに

ご注意

本プリンタは、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明	オプション番号
メモリ（DIMM）	128 MB、256 MB、512 MB DIMM （アンバッファ、NonECC）	2600771-100 2600771-200 2600771-300 2600771-400
両面プリントユニット	自動で用紙の両面に印刷することができます。	1710586-100
給紙ユニット	500 枚給紙トレイ付	1710585-200

ご注意

オプションを取り付ける際は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

静電気防止の対策

ご注意

プリンタコントローラボードや部品を取り扱う前、またプリンタコントローラボードを取り外す前に、接地面に触れて、体についている静電気を放電してください。また、放電した後は、歩き回らないでください。

メモリ（DIMM）の取り付け

メモリ（DIMM）は、メモリチップが表面に載っている小型の基板です。

本プリンタには、標準で 64 MB のメモリが付属しています。増設メモリ（DIMM）を取り付けることにより、最大 576 MB のメモリまでプリンタをアップグレードすることができます。メモリスロットは 1 つ使用できます。

メモリ（DIMM）は、KONICA MINOLTA 純正品をご使用ください。

ダイレクトプリント時に必要なメモリ

		64 MB	**128 MB 以上**
解像度	600 x 600 dpi	○	○
	1200 x 600 dpi 以上	—	○
インデックス印刷		—	○

ダイレクトプリントを使用したプリント画像の解像度の設定には、「ﾄﾞﾗﾌﾄ」（600 × 600 dpi ）、「ﾉｰﾏﾙ」（1200 × 600 dpi ）、「ﾌｧｲﾝ」（2400 × 600 dpi ）の 3 つの設定があります。128MB 以上のメモリを取り付けていない場合、「ﾉｰﾏﾙ」、「ﾌｧｲﾝ」は選択できません。

印刷時に必要なメモリ

	600 x 600 dpi				1200 x 600 dpi				2400 x 600 dpi				2400 x 600 dpi ラインアート			
	モノクロ		フルカラー		モノクロ		フルカラー		モノクロ		フルカラー		モノクロ		フルカラー	
	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面
A4/レター	64	64	64	128	64	64	64	128	64	64	64	256	64	64	64	256
リーガル	64	64	64	128	64	64	64	128	64	64	64	256	64	64	64	256

プリンタドライバの「基本設定」タブにある「トランスミットワンス」を使用して、400 MB 以上のプリントジョブを印刷する場合は、512 MB の増設メモリが必要です。

メモリ（DIMM）仕様

容量	128MB、256MB、512MB
モデュールタイプ	アンバッファ、NonECC
ピン数	168 ピン
コンフィグレーション	16M × 64、32M × 64、64M × 64
データレート	100MHz、133MHz
CAS レイテンシ	3
電圧	3.3V

本プリンタのコントローラボードはシングルサイドの２バンクのメモリまで認識します。
ダブルサイドのメモリ（4 バンク）を取り付けても片面の 2 バンクのみの認識となります。
全てのメモリを正しく認識するために、必ずシングルサイドのメモリを取り付けてください。

オプションのメモリについて詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスし、ご確認ください。

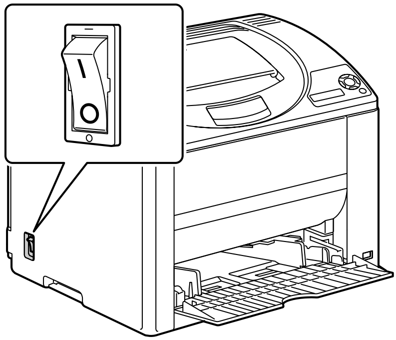
メモリの取り付けかた

ご注意

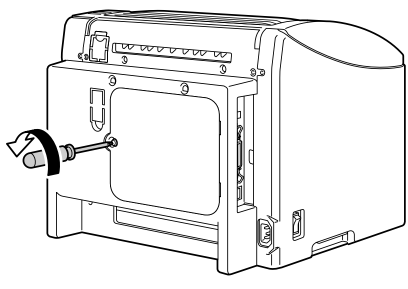
コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.157）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の縁を持ってください。

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

両面プリントユニットを装着している場合は、両面プリントユニットを取り外してください。

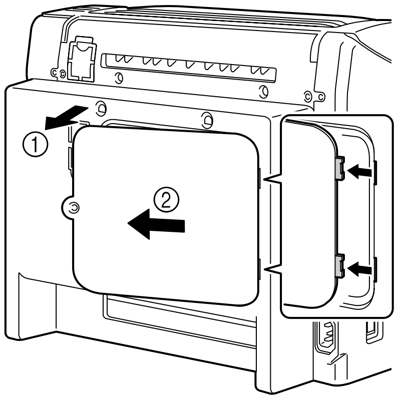


2 背面のねじをコインを使って取り外します。

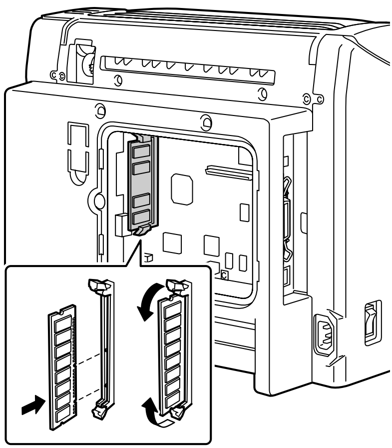


3 背面のパネルを取り外します。

パネルの右側にはつめがありますので、左側を軽く手前に引き、左へスライドさせて取り外してください。



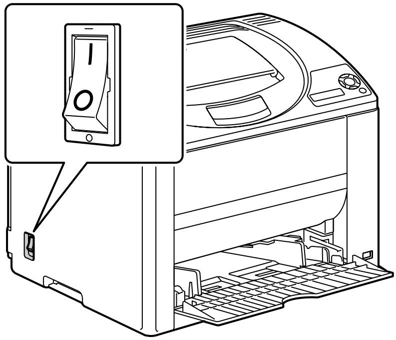
4 メモリの切り欠きを DIMM スロットに合わせて、留め金がロックされる位置にはまるまでまっすぐ差し込みます。
メモリのコネクタ部分がスロットに合っていることを確認します。
メモリをしっかり差し込むことができない場合は、無理に押し込まないでください。メモリが正しくスロットに差し込まれていることを確認して、もう一度取り付けてください。



5 パネルを取り付け、ネジを取り付けます。

6 インターフェースケーブルを接続します。

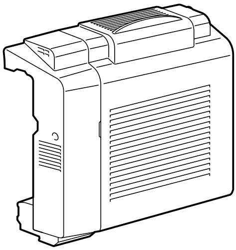
7 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



8 トウケイデータページを印刷（ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ / ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ）し、プリンタに装着されているメモリの総容量の表示を確認します。
（「トウケイデータページ（Configuration Page）を印刷する」（p.120）をごらんください。）

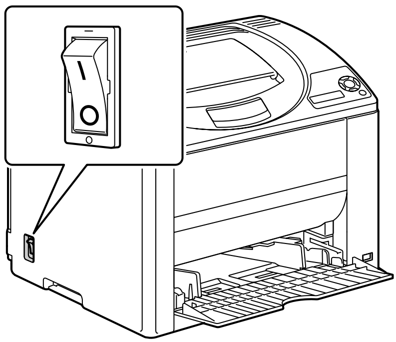
両面プリントユニット の取り付け

両面プリントユニットと十分なメモリが装着されていれば、自動的に両面印刷を行うことが可能です。詳しくは、「両面印刷」（p.91）をごらんください。

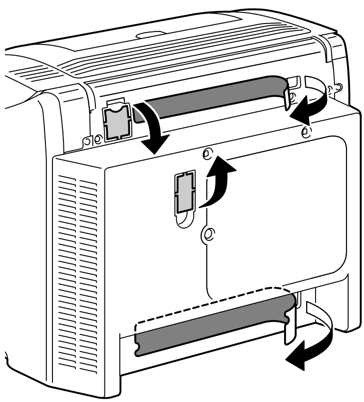


両面プリントユニットの取り付けかた

1 プリンタの電源を切ります。

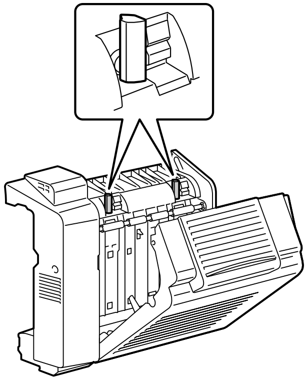


2 2 箇所の割りカバーと、テープを取り除きます。

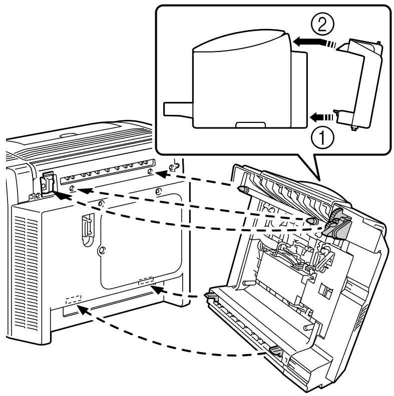


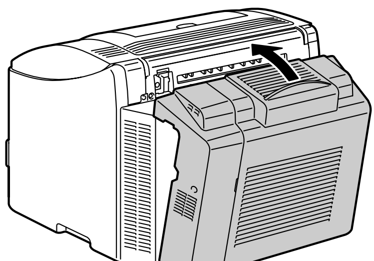
3 両面プリントユニットを用意します。

取り付ける前に、両面プリントユニットのカバーをあけ、つまみが垂直になっていることを確認してください。確認後、カバーは閉じてください。



4 両面プリントユニットを取り付けます。

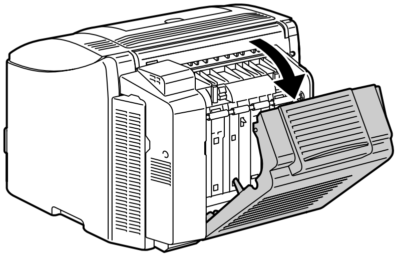




ご注意

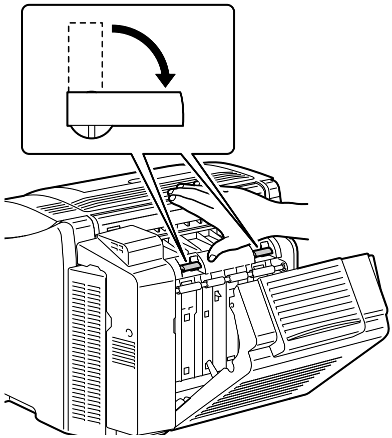
必ず図のように、先に下側をセットしてから両面プリントユニットを装着してください。無理な方法で取り付けると、両面プリントユニット破損の原因となります。

5 両面プリントユニットのカバーを開きます。



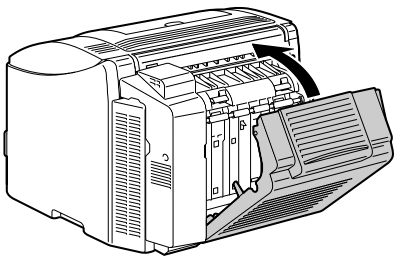
> 両面プリントユニットはまだプリンタ本体に固定されていません。カバーを開ける時は両面プリントユニットをしっかり手で押さえながら開けてください。

6 つまみを押しながら時計方向に回し、水平にします。
両面プリントユニットが固定されます。



> 両方のつまみがしっかりロックされていることを必ず確認してください。

7 両面ユニットカバーを閉めます。

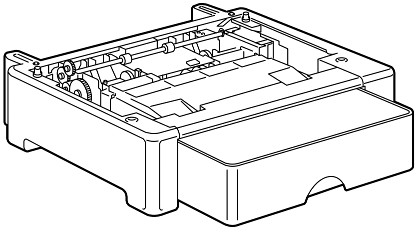


8 プリンタの電源を入れ、ドライバのデバイスオプション設定タブで両面印刷ユニットがインストール済みオプションになっていることを確認します。

> インストール済みオプションになっていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.16）を参照し、手動でインストール済みオプションに追加してください。

給紙ユニット（トレイ 2）の取り付け

オプションの給紙ユニットを装着すると、給紙容量が増加します。
給紙ユニットは、A4 サイズの普通紙を最大 500 枚セットできます。

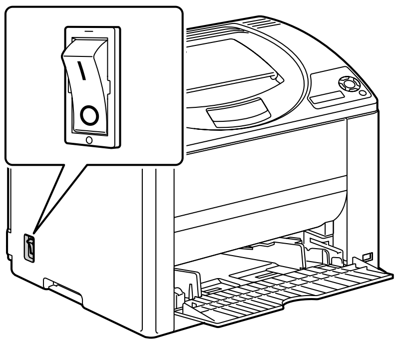


給紙ユニットの取り付けかた

ご注意

プリンタには消耗品が取り付けられているため、プリンタを動かすときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

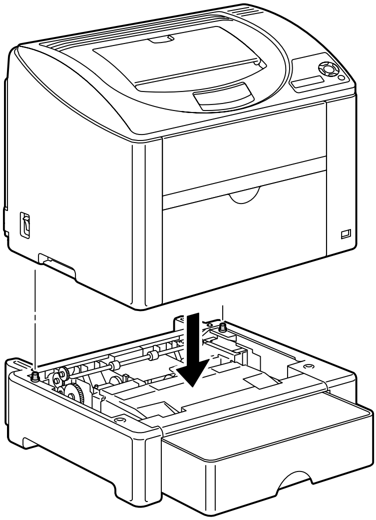
1 プリンタの電源を切り、全てのケーブルを取り外します。



2 給紙ユニットを用意します。

給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

3 プリンタを持ち、給紙ユニットの位置決めピンをプリンタの底の受け穴にあわせ正しくセットします。



4 プリンタの電源を入れ、ドライバのデバイスオプション設定タブでトレイ 2 がインストール済みオプションになっていることを確認します。

インストール済みオプションになっていない場合は、「プリンタドライバの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.16）を参照し、手動でインストール済みオプションに追加してください。

付録 A

技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンタ
印刷方式	半導体レーザー + 回転ミラー
現像方式	電子写真方式
解像度	2400 dpi × 600 dpi、1200 dpi × 600 dpi 、 600 dpi × 600 dpi
ファーストプリント時間（普通紙）	片面 モノクロ：12.0 秒（A4、レターの場合） フルカラー：21.0 秒（A4、レターの場合） 両面 モノクロ：24.0 秒（A4、レターの場合） フルカラー：33.0 秒（A4、レターの場合）
プリント速度（普通紙）	片面 モノクロ：20.0 枚／分（A4、レターの場合） フルカラー：5.0 枚／分（A4、レターの場合） 両面 モノクロ：11.4 枚／分（A4、レターの場合） フルカラー：5.0 枚／分（A4、レターの場合）
ウォームアップ時間	平均 45 秒 最長 54 秒以下
用紙サイズ	トレイ 1 幅：92 ～ 216 mm 長さ： 普通紙／レターヘッド：198 ～ 356 mm 封筒／ラベル紙／はがき／厚紙／ OHP フィルム：148 ～ 297 mm トレイ 2（オプション） A4

用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/m^2） • 再生紙（60 ～ 90 g/m^2） • OHP フィルム • 封筒 • 厚紙（91 ～ 163 g/m^2） • はがき • レターヘッド • ラベル紙 • 光沢紙
給紙容量	トレイ 1 普通紙、再生紙：200 枚 封筒：10 枚 ラベル紙、はがき、厚紙、OHP フィルム、光沢紙、レターヘッド：50 枚 トレイ 2（オプション） 普通紙、再生紙：500 枚
排紙容量	排紙トレイ：200 枚（A4、レターの場合）
動作時の温度	10 ～ 35°C
動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力：1100 W 以下 モノクロ印刷時：600 W 以下 フルカラー印刷時：450 W 以下 スタンバイ時：250 W 以下 節電モード時：10 W 以下 電源オフ時：0W
消費電流	13 A 以下
ノイズレベル	印刷時：52 dB 以下 スタンバイ時：35 dB 以下
外形寸法	高さ：349 mm 幅：430 mm 奥行：395 mm

質量	プリンタ本体： 17.1 kg（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、ダストカバーを除く） 19.4 kg（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、ダストカバーを含む） トナーカートリッジ： 製品に付属のカートリッジ＝ 0.58 kg（Y、M、C、K） 交換用カートリッジ （トナーローラーカバー含む）＝ 0.63 kg（Y、M、C） 0.70 kg（Y、M、C、K）（大容量）
インターフェース	USB 2.0（High Speed）準拠、10 Base-T/100 Base-TX（IEEE 802.3）イーサネット、コニカミノルタデジタルカメラダイレクトプリント用ポート
メモリ	64 MB（最大 576MB まで拡張可能）

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ： 約 1,500 ページ（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ： 約 1,500 ページ（Y、M、C）（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ（大容量）: 約 4,500 ページ（Y、M、C、K）（連続印刷）
ドラムカートリッジ	約 45,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 10,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 11,250 ページ（カラー連続印刷） 約 7,500 ページ（カラー間欠印刷）

上記の数値は印字率が 5% で、A4 ／レターサイズの普通紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

定期交換部品の寿命の目安

本製品には、上記消耗品の他に、製品の性能を保証するために定期交換が必要な部品があります。

定期交換部品は、交換時期を過ぎた場合でも、お使いの製品に特に異常が無いときは、交換を行わないでそのままご使用いただいても問題ございません（ただし性能の保証はできませんのであらかじめご了承ください）。

定期交換部品	平均の寿命の目安
転写ベルト	約 135,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 33,700 ページ（カラー連続印刷） 約 45,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 22,500 ページ（カラー間欠印刷）
転写ローラー	約 120,000 ページ
定着ユニット	約 120,000 ページ

本プリンタのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記にお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

国際エネルギースタープログラム対応

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

索引